

注3

大学番号：037

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

意見伺い

富山大学 都市デザイン学部

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 富山大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部 企画評価課

職名・氏名 主任 フナダ 舟田 シンヤ 真也

電話番号 076-445-6241

（夜間） 076-445-6241

F A X 076-445-6244

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

都市デザイン学部

＜地球システム科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

＜都市・交通デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	55
2. 授業科目の概要	59
3. 施設・設備の整備状況、経費	68
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	70
5. 教員組織の状況	75
6. 留意事項等に対する履行状況等	104
7. その他全般的事項	105

＜材料デザイン工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	108
2. 授業科目の概要	112
3. 施設・設備の整備状況、経費	121
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	123
5. 教員組織の状況	128
6. 留意事項等に対する履行状況等	157
7. その他全般的事項	158

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名 富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(エンドウ シュンロウ) 遠藤 俊郎 (平成23年4月)		
学部長	(ワタナベ トオル) 渡邊 了 (平成30年4月)		
学科長 (地球システム科学科)	(オオトウ シゲル) 大藤 茂 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市デザイン学部 地球システム科学科 学士(理学)	理学関係	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (—) [—]	—人	人	人	人	人	人	人	1.02倍	
志願者数	252 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()		
受験者数	163 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()		
合格者数	43 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	41 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	41 [—] (—)	— [—] (—)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()				
4年次	/				[] ()	[] ()			
計			41 [—] (—)	[] ()					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	41人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	41人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<都市デザイン学部 地球システム科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2							1
	人間と倫理	1前・後	2								1
	こころの科学	1前・後	2								1
	現代と教育	1前・後	2								1
	日本の歴史と社会	1前・後	2								2
	西洋の歴史と社会	1前・後	2								1
	日本文学	1前・後	2								1
	外国文学	1前・後	2								1
	言語と文化	1前・後	2								1
	音楽	1前・後	2								1
	美術	1前・後	2								1
	言語表現	1前・後	2								1
	治療の文化史	1前・後	2								1
	異文化間コミュニケーション	1前・後	2								1
	異文化理解	1前・後	2								1
社会科学系	現代社会論	1前・後	2								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	経済生活と法	1前・後	2								1
	市民生活と法	1前・後	2								1
	はじめての経済学	1前・後	2								1
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2								1
	経営資源のとらえ方	1前・後	2								1
	市場と企業の関係	1前・後	2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								3
	人間と倫理	1前・後	2									2
	こころの科学	1前・後	2									4
	現代と教育	1前・後	2									7
	日本の歴史と社会	1前・後	2									4
	東洋の歴史と社会	1前	2									1
	西洋の歴史と社会	1前・後	2									4
	日本文学	1前・後	2									6
	外国文学	1前・後	2									2
	言語と文化	1前・後	2									5
	音楽	1前・後	2									4
	美術	1前・後	2									8
	言語表現	1後	2									2
	治療の文化史	1前・後	2									1
	異文化間コミュニケーション(未開講)	1前・後	2									1
異文化理解	1前	2									1	
社会科学系	現代社会論	1前・後	2									6
	日本国憲法	1前・後	2									5
	国家と市民	1前・後	2									4
	経済生活と法	1前・後	2									3
	市民生活と法	1前・後	2									8
	はじめての経済学	1前・後	2									4
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2									4
	経営資源のとらえ方	1前・後	2									4
市場と企業の関係	1前・後	2									3	
地域の経済と社会・文化	1前・後	2									2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2		5	1					
	生命の世界	1前・後		2								2
	物理の世界	1前・後		2								2
	化学物質の世界	1前・後		2								2
	自然と情報の数理	1前・後		2								1
	社会と情報の数理	1前・後		2								1
	技術の世界	1前・後		2								2
	材料の科学	1前・後		2								3
	生活の科学	1前・後		2								1
コンピュータの話	1前・後		2								2	
デザインと生物	1前・後		2								1	
医療・健康科学系	医療心理学	1前・後		2								1
	概説医療心理学	1前・後		1								1
	認知科学	1前・後		2								1
	脳科学入門	1前・後		2								1
	生命科学入門	1前・後		1								2
	免疫学入門	1前・後		2								1
	身近な医学	1前・後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前・後		2								1
	医療と地域社会	1前・後		2								2
総合科目系	環境	1前・後		2								1
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								2
	現代文化	1前・後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前・後		2								1
	科学と社会	1前・後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2				4				1
	生命の世界	1前・後		2								3
	物理の世界	1前・後		2								3
	化学物質の世界	1前・後		2								4
	自然と情報の数理	1前・後		2								4
	社会と情報の数理(未開講)	1前・後		2								1
	技術の世界	1前・後		2								4
	材料の科学	1前・後		2				1後				3
	生活の科学	1前・後		2				1前				1
コンピュータの話	1前・後		2				1前				2	
デザインと生物	1前・後		2				1後				3	
医療・健康科学系	医療心理学	1前・後		2				1前				2
	概説医療心理学	1前・後		1				1前				1
	認知科学	1前・後		2				1後				1
	脳科学入門	1前・後		2				1後				2
	生命科学入門	1前・後		1				1前				2
	免疫学入門	1前・後		2				1前				2
	身近な医学	1前・後		2				1後				1
	障害とアクセシビリティ	1前・後		2				1前				5
	医療と地域社会	1前・後		2				1後				1
総合科目系	環境	1前・後		2								3
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								4
	現代文化	1前・後		2				1後				1
	人権と福祉	1前・後		2				1前				1
	環日本海	1前・後		2				1前				2
	科学と社会	1前・後		2								7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	アカデミック・デザイン	1前・後	2							1
		ビジネス思考	1前・後	2							1
		平和学入門	1前・後	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1前・後	2							1
		環境と安全管理	1前・後	2							1
		万葉学	1前・後	2							1
		日本海学	1前・後	2			1				
		富山大学学	1前・後	2							1
		とやま地域学	1前・後	2							1
		時事的問題	1前・後	2							1
		災害救援ボランティア論	1前・後	2							1
		感性をはぐくむ	1前・後	2							1
		日本事情／芸術文化	1前・後	2							1
		日本事情／自然社会	1前・後	2							1
		学士力・人間力基礎	1前・後	2							1
		富山学	1前・後	2							3
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
		産業観光学	1前・後	2							3
富山のものづくり概論	1前・後	2							4		
富山の地域づくり	1前・後	2							3		
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							7
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							7
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							7
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							7
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	アカデミック・デザイン	1後	2							2
		ビジネス思考	1後	2							2
		平和学入門	1前	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前	2							1
		新聞投稿に挑戦	1後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1後	2							2
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1前	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
産業観光学	1後	2							1		
富山のものづくり概論	1前	2							1		
富山の地域づくり	1前	2							4		
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							12
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							10
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							11
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							10
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							7
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							9

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		中国語基礎Ⅰ	1前	1							1
		中国語基礎Ⅱ	1後	1							1
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							1
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前		1						1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後		1						1		
日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1		
日本語リテラシーⅢ	2前		1						1		
日本語／専門研究	2後		1						1		
日本語／ビジネス	2後		1						1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							7
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							5
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		中国語基礎Ⅰ	1前	1							10
		中国語基礎Ⅱ	1後	1							10
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							7
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							7
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							2
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							2
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前			1					1
		発展多言語演習中国語	2前			1					1
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前			1					1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後			1					1		
日本語コミュニケーションⅢ	2前			1					1		
日本語リテラシーⅢ	2前			1					1		
日本語／専門研究	2後			1					1		
日本語／ビジネス	2後			1					1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1前・後	1							1
		健康・スポーツ／実技	1前	1							1
	情報処理系	情報処理—A	1前	2							4
		応用情報処理	1後	2							1
学部共通科目	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2			1					
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①	2							1	
	都市デザイン学総論	1③④	2			1					11
	インフラ材料	2①	2								2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	物質科学	2②	2			2					4
	自然災害学	2③	2			1					1
	デザインプレゼンテーション	2④	2								1
	モビリティデザイン	3①	2								1
	全学横断PBL	3②	1			1		1			8
	インターンシップA	3②③	1			1					
	インターンシップB	3②③	2			1					
	地域デザインPBL	3③	1			3					7
都市ブランドデザイン	3③	2								1	
科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1					3	
(自然科学基礎科目)	微分積分	1①②	2			1					
	線形代数	1①②	2			1					
	力学	1③④	2			1					
	応用数学	1③④	2			1					
	物理学序論	2①②	2			3	1				
	基礎物理学実験	2②	1			2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後	1							8
		健康・スポーツ／実技	1前・後	1							16
	情報処理系	情報処理—A	1前	2							13
		応用情報処理	1後	2							4
学部共通科目	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2			1					
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①	2							1	
	都市デザイン学総論	1③④	2			1					11
	インフラ材料	2①	2								2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	物質科学	2②	2			2					4
	自然災害学	2③	2			1					1
	デザインプレゼンテーション	2④	2								1
	モビリティデザイン	3①	2								1
	全学横断PBL	3②	1			1		1		1	8
	インターンシップA	3②③	1			1					
	インターンシップB	3②③	2			1					
	地域デザインPBL	3③	1			3					7
都市ブランドデザイン	3③	2								1	
科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1					3	
(自然科学基礎科目)	微分積分	1①②	2			1					
	線形代数	1①②	2			1					
	力学	1③④	2			1					
	応用数学	1③④	2			1					
	物理学序論	2①②	2			3	1				
	基礎物理学実験	2②	1			2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任													
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手														
専攻科目	地球科学概論	1①②	2			3																		
	地球科学実験	1③④	2			2																		
	一般地質学	1③④	2			1																		
	岩石・鉱物学	2①	2			2																		
	岩石・鉱物学実験	3①②③		3		2																		
	地殻物理学	2①	2			1																		
	地球計算機実習	2①②		2		1	1																	
	気象学	2②	2			1																		
	地球電磁気学	2③	2			1																		
	海洋物理学	2③	2			1																		
	堆積学	2③		2		1																		
	地質学実験	2③④		2		1	1																	
	地球物理学実験Ⅰ	2③④		2		4	1																	
	地球物理学実験Ⅱ	3①②③		3		5	1		1															
	雪氷学	2④	2			1																		
	地球内部物理学	2④	2			1																		
	火山学	2④		2		1																		
地球流体力学	3①		2		1																			
気水圏情報処理論	3②		2			1																		
リモートセンシング学	3③		2		1																			
地史学	3③		2		2																			
自然と人間の活動との関係について	地球情報学	2②	2				1																	
	災害地質学	2④		2			1																	
	環境磁気学	3①		2			1																	
	資源環境科学	3③		2		1																		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任													
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手														
専攻科目	地球科学概論	1①②	2			3																		
	地球科学実験	1③④	2			2																		
	一般地質学	1③④	2			1																		
	岩石・鉱物学	2①	2			2																		
	岩石・鉱物学実験	3①②③		3		2																		
	地殻物理学	2①	2			1																		
	地球計算機実習	2①②		2		1	1																	
	気象学	2②	2			1																		
	地球電磁気学	2③	2			1																		
	海洋物理学	2③	2			1																		
	堆積学	2③		2		1																		
	地質学実験	2③④		2		1	1																	
	地球物理学実験Ⅰ	2③④		2		4	1																	
	地球物理学実験Ⅱ	3①②③		3		5	1		1															
	雪氷学	2④	2			1																		
	地球内部物理学	2④	2			1																		
	火山学	2④		2		1																		
地球流体力学	3①		2		1																			
気水圏情報処理論	3②		2			1																		
リモートセンシング学	3③		2		1																			
地史学	3③		2		2																			
自然と人間の活動との関係について	地球情報学	2②	2				1																	
	災害地質学	2④		2			1																	
	環境磁気学	3①		2			1																	
	資源環境科学	3③		2		1																		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	「地域」の自然 野外実習 I	2①②		2		4	2					
	野外実習 II	3①②		2		4						
	地質調査法実習	3②③		3		4	2					
問題発見・解決力・コミュニケーション	基礎地球セミナー	1①②	2			11	4		1			
	科学英語	2③④	2			1						
	洋書講読	3①	2			10	4		1			
	専攻セミナー	3④	2			11	4		1			
	卒業論文	4通	12			11	4		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	「地域」の自然 野外実習 I	2①②		2		4	2					
	野外実習 II	3①②		2		4						
	地質調査法実習	3②③		3		4	2					
問題発見・解決力・コミュニケーション	基礎地球セミナー	1①②	2			11	4		1			
	科学英語	2③④	2			1						
	洋書講読	3①	2			10	4		1			
	専攻セミナー	3④	2			11	4		1			
	卒業論文	4通	12			11	4		1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>○教養教育科目における新規科目の追加 科目充実のため、以下の科目を追加する。 東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦</p> <p>○教養教育科目における配当年次の変更 教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。 言語表現／異文化理解／材料の科学／生活の科学／コンピュータの話／デザインと生物／医療心理学／概説医療心理学／認知科学 脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ／医療と地域社会／現代文化／環日本海 アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門／東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学 環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ 日本事情/芸術文化 / 日本事情/自然社会 / 学士力・人間力基礎/富山学/産業観光学/富山のものづくり概論 富山の地域づくり/発展多言語演習ラテン語Ⅰ/発展多言語演習ラテン語Ⅱ/ 健康・スポーツ/講義 / 健康・スポーツ/実技</p> <p>○教養教育科目における教員配置の変更 担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。</p> <p>○設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更 設置計画書誤記修正のため、「野外実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」に変更する。 (設置計画書における教員名簿等においては教授2名として提出済み)</p>

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	126 科目	8 科目	166 科目	32 科目 []	130 科目 [4]	8 科目 []	170 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	異文化間コミュニケーション	2	1前・後	一般	選択	開講年次再検討のため1年次前期の科目を未開講とするが、年次を改めて開講予定
2	社会と情報の数理	2	1前・後	一般	選択	開講年次再検討のため1年次前期の科目を未開講とするが、年次を改めて開講予定
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開講年次再検討のために未開講となった科目についても、年次を改めて確実に開講することにより、影響を最小限に抑えることとしている。
 学生には履修案内や学務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{166} = \boxed{1.20}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,141 m ²			
	運動場用地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²			
	小 計	623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,713 m ²			
	そ の 他	89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,909 m ²			
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	第2大学食堂の増築等の ため(30)		
		223,262 222,893 m ²	- m ²	- m ²	223,262 222,893 m ²			
		(223,262 222,893 m ²)	(m ²)	(m ²)	(223,262 222,893 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 学生の修学環境を改善 するため(30)		
	133 室	215 217 室	635 630 室	30 29 室 (補助職員 12 人)	4 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	都市デザイン学部			48 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定 不能なため、大学 全体の数 新規受入、図書の整理 のため(30)
	都市デザイン学部	1,370,847 [438,793] +363,030 [437,165] (1,370,847 [438,793]) (+363,030 [437,165])	24,815 [7,663] 24,760 [7,653] (24,815 [7,663]) (24,760 [7,653])	12,790 [11,427] 13,004 [11,720] (12,790 [11,427]) (13,004 [11,720])	18,297 18,179 18,297 18,179	38 (38)	0	
	計	1,370,847 [438,793] +363,030 [437,165] (1,370,847 [438,793]) (+363,030 [437,165])	24,815 [7,663] 24,760 [7,653] (24,815 [7,663]) (24,760 [7,653])	12,790 [11,427] 13,004 [11,720] (12,790 [11,427]) (13,004 [11,720])	18,297 18,179 18,297 18,179	38 (38)	0	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		【閲覧座席数】学習環 境整備のため 【収納可能冊数】書架 を購入して、書棚を増 やしたため、収納でき る冊数が増加した (30)		
	13,855 m ²		1,566 1,567	1,056,750 1,043,783				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プール・テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	富山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部			3年次						
人文学科	4	170	7	725	学士(文学)	1.02	昭和52	富山県富山市五福3190番地	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
計		170	14	739					
人間発達科学部									
発達教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	1.04	平成17	富山県富山市五福3190番地	
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士(教育学)	1.05	平成17	同上	
計		170	-	680					
経済学部									
(昼間主コース)			3年次						
経済学科	4	120	4	525	学士(経済学)	1.04	昭和28	富山県富山市五福3190番地	
経営学科	4	100	4	445	学士(経営学)	1.01	昭和49	同上	
経営法学科	4	85	2	370	学士(法学)	1.03	昭和54	同上	
(夜間主コース)			3年次10(各学科共通)						
経済学科	4	10		70	学士(経済学)	1.07	昭和61	同上	
経営学科	4	10		70	学士(経営学)	1.06	昭和61	同上	
経営法学科	4	10		70	学士(法学)	1.07	昭和61	同上	
計		335	20	1,570					収容定員における編入学者数は、学部計に含める
理学部			3年次4(各学科共通)						
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	昭和52	富山県富山市五福3190番地	
物理学科	4	40	1	160	学士(理学)	1.04	昭和52	同上	
化学科	4	35	1	140	学士(理学)	1.04	昭和52	同上	
生物学科	4	35	1	140	学士(理学)	1.08	昭和52	同上	
地球科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和52	同上	平成30年より学生募集停止
生物圏環境科学科	4	30	1	120	学士(理学)	1.10	平成5	同上	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
計		190	8	768					

医学部									
医学科	6	105	2年次5	630	学士 (医学)	1.00	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	320	学士 (看護学)	1.00	平成5	同上	
計		185	45	995					取容定員における編入学生数は、学部計に含める
薬学部									
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.04	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
創薬科学科	4	50	-	200	学士 (薬科学)	1.05	平成18	同上	
計		105	-	530					
工学部									
工学科	4	365		365	学士 (工学)	1.01	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
環境応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
材料機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
計		365	-	365					
芸術文化学部									
芸術文化学科	4	110	-	455	学士 (芸術文化学)	1.03	平成17	富山県高岡市二上町180番地	
計		110	-	455					
都市デザイン学部									
地球システム科学科	4	40	-	40	学士 (理学)	1.02	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	40	-	40	学士 (工学)	1.05	平成30	同上	
材料デザイン工学科	4	60	-	60	学士 (工学)	1.10	平成30	同上	
計		140	-	140					

大学の名称	富山大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科 (修士課程)									
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	1.06	平成23	富山県富山市五福3190番地	
計		8	-	16					
人間発達科学研究科 (修士課程)									
発達教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.58	平成23	富山県富山市五福3190番地	
発達環境専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.24	平成23	同上	
計		12	-	24					
経済学研究科 (修士課程)									
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士 (経済学)	1.33	平成3	富山県富山市五福3190番地	
企業経営専攻	2	12	-	24	修士 (経営学)	0.95	平成3	同上	
計		18	-	36					
芸術文化学研究科 (修士課程)									
芸術文化学専攻	2	8	-	16	修士 (芸術文化学)	1.06	平成23	富山県高岡市二上町180番地	
計		8	-	16					
生命融合科学教育部 (博士課程)									
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士 (医学)	0.74	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.41	平成18	富山県富山市五福3190番地	
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.83	平成18	同上	
計		17	-	60					

医学薬学教育部									
(修士課程)									
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.30	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学専攻	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	平成18	同上	平成27年より学生募集停止
計		15	-	30					
(博士前期課程)									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.46	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.25	平成22	同上	
計		51	-	102					
(博士後期課程)									
看護学専攻	3	3	-	9	修士 (看護学)	1.22	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	3	8	-	24	修士 (薬科学)	1.33	平成24	同上	
計		11	-	33					
(博士課程)									
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	0.95	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士 (医学)	0.53	平成18	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.43	平成24	同上	
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士 (薬学)	-	平成18	同上	平成24年より学生募集停止
計		29		116					
理工学教育部									
(修士課程)									
数学専攻	2	8	-	16	修士 (理学)	0.81	平成18	富山県富山市五福3190番地	
物理学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.24	平成18	同上	
化学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.62	平成18	同上	
生物学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.45	平成18	同上	
地球科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.05	平成18	同上	
生物環境科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.10	平成18	同上	
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.36	平成18	同上	
知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.27	平成18	同上	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.14	平成18	同上	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.24	平成24	同上	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士 (工学)	1.20	平成24	同上	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.05	平成24	同上	
計		217	-	434					

(博士課程)								
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士 (理学又は工学)	1.46	平成18	富山県富山市五福3190番地
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	1.25	平成18	同上
新エネルギー科学専攻	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.77	平成18	同上
地球生命環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	0.66	平成18	同上
計		16	-	48				
教職実践開発研究科								
(専門職学位課程)								
教職実践開発専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.96	平成28	富山県富山市五福3190番地
計		14	-	28				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<都市デザイン学部 地球システム科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	大藤 茂 <平成30年4月>
		地球と環境 地球科学実験 一般地質学 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境 インターンシップA インターンシップB 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 火山学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	清水 正明 <平成30年4月>
		地球科学概論 地球科学実験 基礎地球セミナー
専	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球科学実験 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 資源環境科学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	佐野 晋一 <平成30年4月>
		堆積学 地質学実験 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	大藤 茂 <平成30年4月>
		地球と環境 地球科学実験 一般地質学 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境 インターンシップA インターンシップB 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 火山学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	清水 正明 <平成30年4月>
		地球科学概論 地球科学実験 基礎地球セミナー
専	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球科学実験 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 資源環境科学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	佐野 晋一 <平成30年4月>
		堆積学 地質学実験 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 微分積分 力学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球物理学実験 I 地球内部物理学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境 線形代数 地殻物理学 地球物理学実験 II 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	松浦 知徳 <平成30年4月>
		応用数学 基礎地球セミナー
専	教授	田口 文明 <平成31年4月>
		応用数学 地球計算機実習 海洋物理学 地球物理学実験 II 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		科学と社会 自然災害学 物理学序論 気象学 地球物理学実験 I 地球物理学実験 II 地球流体力学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		地球と環境 日本海学 データサイエンス I / 確率統計 地球科学概論 地球物理学実験 I 地球物理学実験 II 雪水学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 微分積分 力学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球物理学実験 I 地球内部物理学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境 線形代数 地殻物理学 地球物理学実験 II 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	松浦 知徳 <平成30年4月>
		応用数学 基礎地球セミナー
専	教授	田口 文明 <平成31年4月>
		応用数学 地球計算機実習 海洋物理学 地球物理学実験 II 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		自然災害学 物理学序論 気象学 地球物理学実験 I 地球物理学実験 II 地球流体力学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		データサイエンス I / 確率統計 地球科学概論 地球物理学実験 I 地球物理学実験 II 雪水学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀 雅裕 <平成32年4月>
		地球物理学実験Ⅱ リモートセンシング学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	Maria Therese Cioppa <平成31年4月>
		地球電磁気学 地球物理学実験Ⅰ 基礎地球セミナー 科学英語 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	立石 良 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産 災害地質学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	安江 健一 <平成30年4月>
		地域デザインPBL 地質学実験 地球情報学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月>
		地球と環境 地域デザインPBL 物理学序論 基礎物理学実験 地球物理学実験Ⅱ 環境磁気学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	濱田 篤 <平成30年4月>
		データサイエンスⅡ/多変量解析 地域デザインPBL 地球計算機実習 地球物理学実験Ⅰ 気水圏情報処理論 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀 雅裕 <平成32年4月>
		地球物理学実験Ⅱ リモートセンシング学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	Maria Therese Cioppa <平成31年4月>
		地球電磁気学 地球物理学実験Ⅰ 基礎地球セミナー 科学英語 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	立石 良 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産 災害地質学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	安江 健一 <平成30年4月>
		地域デザインPBL 地質学実験 地球情報学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月>
		地球と環境 地域デザインPBL 物理学序論 基礎物理学実験 地球物理学実験Ⅱ 環境磁気学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	濱田 篤 <平成30年4月>
		データサイエンスⅡ/多変量解析 地域デザインPBL 地球計算機実習 地球物理学実験Ⅰ 気水圏情報処理論 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	堀田 耕平 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
		コンピュータの話 情報処理-A
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月>
		デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		物理の世界 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	才川 清二 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 地域デザインPBL

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	堀田 耕平 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月>
		デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
兼任	教授	才川 清二 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 地域デザインPBL

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		応用情報処理 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月>
		哲学のすすめ 人間と倫理 医療と地域社会
兼任	教授	喜田 裕子 <平成30年4月>
		こころの科学 学士力・人間力基礎
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月>
		現代と教育

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		物質科学
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月>
		医療と地域社会
兼任	教授	永井 龍男 <平成30年4月>
		哲学のすすめ
兼任	教授	田畑 真美 <平成30年4月>
		人間と倫理
兼任	教授	喜田 裕子 <平成30年4月>
		学士力・人間力基礎
兼任	教授	佐藤 徳 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	磯崎 尚子 <平成30年4月>
		現代と教育

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 万葉学
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月>
		日本文学
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月>
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月>
		言語と文化 アカデミック・デザイン
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月>
		美術

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	竹村 哲 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	新夕 義典 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	教授	徳永 洋介 <平成30年4月>
		東洋の歴史と社会
兼任	教授	小野 直子 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会
兼任	教授	徳橋 曜 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月>
		日本文学
兼任	教授	田村 俊介 <平成30年4月>
		日本文学 万葉学
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月>
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月>
		外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月>
		アカデミック・デザイン
兼任	教授	中井 精一 <平成30年4月>
		言語と文化
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	大坪 史尚 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月>
		美術

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月>
		異文化間コミュニケーション 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ 日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	BAHAU SIMON PETER <平成30年4月>
		異文化理解 日本事情/自然社会 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼任	教授	木原 淳 <平成30年4月>
		日本国憲法 市民生活と法 医療と地域社会
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月>
		経済生活と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	上山 輝 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	後藤 敏伸 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	高橋 誠一 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	米田 猛 <平成30年4月>
		言語表現
兼任	教授	藤本 武 <平成30年4月>
		現代社会論
兼任	教授	橋本 勝 <平成30年4月>
		現代社会論 新聞投稿に挑戦
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月>
		日本語リテラシーⅠ
兼任	教授	BAHAU SIMON PETER <平成30年4月>
		異文化理解 日本事情/自然社会 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼任	講師	木原 淳 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	高橋 満彦 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	宮井 清暢 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月>
		国家と市民
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月>
兼任	教授	竹地 潔 <平成30年4月>
		経済生活と法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	唐渡 広志 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境 富山から考える震災・復興学
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月>
		経営資源のとらえ方
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月>
		市場と企業の関係 環日本海

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月>
		経済生活と法 市民生活と法
兼任	教授	福井 修 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	橋口 賢一 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	香川 崇 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	唐渡 広志 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	岩田 真一郎 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境
兼任	教授	酒井 富夫 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ
兼任	教授	垣田 直樹 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ
兼任	教授	新里 泰孝 <平成30年4月>
		富山から考える震災・復興学
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月>
		経営資源のとらえ方
兼任	教授	馬 駿 <平成30年4月>
		経営資源のとらえ方
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月>
		市場と企業の関係
兼任	教授	坂田 博美 <平成30年4月>
		市場と企業の関係
兼任	教授	堂谷 昌孝 <平成30年4月>
		市場と企業の関係
兼任	教授	岩内 秀徳 <平成30年4月>
		環日本海
兼任	教授	根岸 秀行 <平成30年4月>
		地域の経済と社会・文化

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	柘植 清志 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月>
		自然と情報の数理 情報処理—A
兼任	教授	横山 一憲 <平成30年4月>
		社会と情報の数理
兼任	教授	岡田 裕之 <平成30年4月>
		技術の世界 情報処理—A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	山根 拓 <平成30年4月>
		地域の経済と社会・文化
兼任	教授	丸茂 克美 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月>
兼任	教授	松田 恒平 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	田端 俊英 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	池本 弘之 <平成30年4月>
		物理の世界
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月>
兼任	教授	柘植 清志 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	倉光 英樹 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	井川 善也 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月>
兼任	教授	藤田 景子 <平成30年4月>
		自然と情報の数理
兼任	教授	菊池 万里 <平成30年4月>
		自然と情報の数理
兼任	教授	横山 一憲 <平成30年4月>
兼任	教授	岡田 裕之 <平成30年4月>
		情報処理—A
兼任	教授	平澤 良男 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	手崎 衆 <平成30年4月>
		技術の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	堀 悦郎 <平成30年4月>
		医療心理学 概説医療心理学 認知科学 脳科学入門
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月>
		生命科学入門
兼任	教授	松井 隆幸 <平成30年4月>
		人権と福祉

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	堀江 秀夫 <平成30年4月>
		生活の科学
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	岩坪 美兼 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	堀 悦郎 <平成30年4月>
		医療心理学 概説医療心理学 脳科学入門 身近な医学
兼任	教授	比嘉 勇人 <平成30年4月>
		医療心理学
兼任	教授	森 寿 <平成30年4月>
		脳科学入門
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月>
		生命科学入門
兼任	教授	宮 一志 <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	教授	遠田 浩司 <平成30年4月>
		環境
兼任	教授	佐藤 裕 <平成30年4月>
		ジェンダー
兼任	教授	田代 発造 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	川口 清司 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	松井 隆幸 <平成30年4月>
		環日本海
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	波多野 雄治 <平成30年4月>
		科学と社会

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論—政治・経済・文化—
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月> 富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	奥村 譲 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論—政治・経済・文化— 産業と経済を学ぶ
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼任	教授	奥寺 敬 <平成30年4月> 災害救援ボランティア論
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月> 地域ライフプラン 産業観光学 富山の地域づくり
兼任	教授	奥村 譲 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	恒川 正巳 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	藤田 秀樹 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	内藤 亮一 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	教授	荻原 洋 <平成30年4月> 英語リテラシーⅡ-A
兼任	教授	タランディス・ジェラルド <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	中島 淑恵 <平成30年4月>
		フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	岡崎 浩幸 <平成30年4月>
		英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月>
兼任	教授	黒田 廉 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ
兼任	教授	宮内 伸子 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	Wolfgang Zoubek <平成30年4月>
		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	中島 淑恵 <平成30年4月>
		フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ アカデミック・デザイン
兼任	教授	山田 真一 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	森賀 一恵 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	末岡 宏 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	副島 健治 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ
兼担	准教授	河野 哲也 <平成30年4月>
		インフラ材料
兼担	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>
		自然災害学
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	磯部 祐子 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	教授	青木 恭子 <平成30年4月>
		ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼担	教授	カザケーヴィチ マルガリータ アレクサンドロヴナ <平成30年4月>
		ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼担	教授	副島 健治 <平成30年4月>
		日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
兼担	教授	山崎 けい子 <平成30年4月>
		日本語リテラシーⅡ
兼担	教授	大川 信行 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義
兼担	教授	鳥海 清司 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼担	教授	布村 忠弘 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼担	教授	橋爪 和夫 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼担	教授	堀田 朋基 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼担	教授	栗本 猛 <平成30年4月>
		情報処理-A
兼担	教授	小川 晃一 <平成30年4月>
		情報処理-A
兼担	准教授	河野 哲也 <平成30年4月>
		インフラ材料
兼担	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>
		自然災害学
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 地域デザインPBL
兼任	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>
		データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎
兼任	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>
		物理の世界
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学
兼任	准教授	吉田 正道 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	准教授	谷口 美樹 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 治療の文化史 ジェンダー
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会 富山大学学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 地域デザインPBL
兼任	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>
		データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎
兼任	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学
兼任	准教授	吉田 正道 <平成30年4月>
兼任	准教授	池田 真治 <平成30年4月>
		哲学のすすめ
兼任	准教授	澤田 哲生 <平成30年4月>
		人間と倫理
兼任	准教授	坪見 博之 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	准教授	石津 憲一郎 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	准教授	若山 育代 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	准教授	仲嶺 政光 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	准教授	谷口 美樹 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 治療の文化史
兼任	准教授	熊谷 隆之 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	准教授	高橋 浩二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月>
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	池田 文佑 <平成30年 4月>
		現代社会論 現代文化 平和学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	大西 吉之 <平成30年 4月>
		西洋の歴史と社会
兼担	准教授	小谷 瑛輔 <平成30年 4月>
		日本文学
兼担	准教授	安藤 智子 <平成30年 4月>
		言語と文化
兼担	准教授	野澤 豊一 <平成30年 4月>
		言語と文化
兼担	准教授	宮城 信 <平成30年 4月>
		言語と文化
兼担	准教授	島添 貴美子 <平成30年 4月>
		音楽
兼担	准教授	沖 和宏 <平成30年 4月>
		美術
兼担	准教授	池田 文佑 <平成30年 4月>
		現代文化 平和学入門
兼担	准教授	林 夏生 <平成30年 4月>
		現代社会論
兼担	准教授	伊藤 智樹 <平成30年 4月>
		現代社会論
兼担	准教授	志賀 文哉 <平成30年 4月>
		現代社会論
兼担	准教授	中村 真由美 <平成30年 4月>
		現代社会論
兼担	准教授	神山 智美 <平成30年 4月>
		日本国憲法
兼担	准教授	八百 章嘉 <平成30年 4月>
		国家と市民
兼担	准教授	辻本 淳史 <平成30年 4月>
		国家と市民
兼担	准教授	岩本 学 <平成30年 4月>
		市民生活と法
兼担	准教授	森嶋 秀紀 <平成30年 4月>
		市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	准教授	藤本 孝子 <平成30年4月>	
		生活の科学	
兼任	准教授	片桐 達雄 <平成30年4月>	
		生命科学入門 免疫学入門	
兼任	准教授	中川 圭子 <平成30年4月>	
		身近な医学	

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	准教授	松山 淳 <平成30年4月>	
		はじめての経済学	
兼任	准教授	山田 潤司 <平成30年4月>	
		はじめての経済学	
兼任	准教授	櫻田 貴道 <平成30年4月>	
		経営資源のとらえ方	
兼任	准教授	廣橋 祥 <平成30年4月>	
		経営資源のとらえ方	
兼任	准教授	若林 丈晴 <平成30年4月>	
		市場と企業の関係	
兼任	准教授	高崎 一朗 <平成30年4月>	
		生命の世界	
兼任	准教授	柿崎 充 <平成30年4月>	
		物理の世界	
兼任	准教授	大澤 力 <平成30年4月>	
		化学物質の世界	
兼任	准教授	上田 肇一 <平成30年4月>	
		自然と情報の数理	
兼任	准教授	鈴木 賢治 <平成30年4月>	
		技術の世界	
兼任	准教授	藤本 孝子 <平成30年4月>	
兼任	准教授	辻合 秀一 <平成30年4月>	
		コンピュータの話	
兼任	准教授	高島 圭史 <平成30年4月>	
		デザインと生物	
兼任	准教授	片桐 達雄 <平成30年4月>	
		生命科学入門 免疫学入門	
兼任	准教授	岸 裕幸 <平成30年4月>	
		免疫学入門	
兼任	准教授	中川 圭子 <平成30年4月>	
兼任	准教授	水内 豊和 <平成30年4月>	
		障害とアクセシビリティ	
兼任	准教授	田中 いずみ <平成30年4月>	
		障害とアクセシビリティ	

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	高山 龍太郎 <平成30年4月>
		時事的問題
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月>
		災害救援ボランティア論
兼任	准教授	渡邊 雅志 <平成30年4月>
		感性をはぐぐむ
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 優紀美 <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	准教授	雨宮 洋美 <平成30年4月>
		環境
兼任	准教授	原 正憲 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	准教授	橋爪 隆 <平成30年4月>
		ビジネス思考
兼任	准教授	宮武 滝太 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	准教授	奥 敬一 <平成30年4月>
		富山大学学 富山学
兼任	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月>
		時事的問題
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月>
兼任	准教授	渡邊 雅志 <平成30年4月>
		感性をはぐぐむ
兼任	准教授	大西 宏治 <平成30年4月>
		富山の地域づくり
兼任	准教授	結城 史郎 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	竹腰 佳誓子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月>
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月>

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	水野 真理子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	山岸 倫子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習中国語
兼任	准教授	
兼任	准教授	和田 とも美 <平成30年4月>
		朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	
兼任	教授	武田 昭文 <平成30年4月>
		ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	水谷 秀樹 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	水野 真理子 <平成30年4月>
兼任	准教授	山岸 倫子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	阿部 美規 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月>
		フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語
兼任	准教授	梁 有紀 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	准教授	和田 とも美 <平成30年4月>
		朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	上保 敏 <平成30年4月>
		朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月>
		ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	田中 信之 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	水谷 秀樹 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/実技

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
			兼任	准教授	佐伯 聡史 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技
			兼任	准教授	森 雅之 <平成30年4月>
					情報処理-A
			兼任	准教授	荻戸 立夫 <平成30年4月>
					情報処理-A
			兼任	准教授	沖野 浩二 <平成30年4月>
					情報処理-A 応用情報処理
			兼任	准教授	宮澤 眞宏 <平成30年4月>
					情報処理-A
			兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月>
					応用情報処理
兼任	特命准教授	尾山 真 <平成30年4月>	兼任	特命准教授	尾山 真 <平成30年4月>
		富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり			地域ライフプラン 富山の地域づくり
			兼任	講師	近藤 龍彰 <平成30年4月>
					こころの科学
			兼任	講師	和田 充紀 <平成30年4月>
					現代と教育
			兼任	講師	松田 愛 <平成30年4月>
					美術
			兼任	講師	三宮 千佳 <平成30年4月>
					美術
兼任	教授	佐山 三千雄 <平成30年4月>	兼任	講師	佐山 三千雄 <平成30年4月>
		言語表現			言語表現
			兼任	講師	増田 友樹 <平成30年4月>
					経済生活と法
			兼任	講師	木戸 茜 <平成30年4月>
					市民生活と法
			兼任	講師	大橋 隼人 <平成30年4月>
					物理の世界 情報処理-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	柴田 啓司 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	講師	小田 夕香理 <平成30年4月> 英語リテラシーI-A 英語リテラシーII-A 英語コミュニケーションI-A 英語コミュニケーションII-A
兼任	特命講師	桶谷 文哲 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
兼任	助教	阿久井 康平 <平成30年4月> 全学横断PBL
兼任	助教	山根 岳志 <平成30年4月> 情報処理-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	稲積 泰宏 <平成30年4月> コンピュータの話
兼任	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	講師	田口 明 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	講師	小田 夕香理 <平成30年4月>
兼任	講師	高野 登 <平成30年4月> 日本語コミュニケーションII
兼任	講師	神野 賢治 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	講師	田邊 元 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	講師	澤 聡美 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
兼任	講師	村山 立人 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	講師	本田 和博 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	講師	山下 和也 <平成30年4月> 情報処理-A 応用情報処理
兼任	講師	遠山 和大 <平成30年4月> 情報処理-A 応用情報処理
兼任	特命講師	桶谷 文哲 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
兼任	助教	阿久井 康平 <平成30年4月> 全学横断PBL
兼任	助教	山根 岳志 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	助教	加瀬 篤志 <平成30年4月> 自然と情報の数理

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	特命 助教	定村 誠 <平成30年4月> 富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	講師	尾畑 納子 <平成30年4月> とやま地域学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	赤丸 悟士 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	特命 助教	定村 誠 <平成30年4月> 地域ライフプラン 富山の地域づくり
兼任	講師	市村 俊信 <平成30年4月> 哲学のすすめ
兼任	講師	奥野 美友紀 <平成30年4月> 日本文学
兼任	講師	朝木 敏子 <平成30年4月> 日本文学
兼任	講師	呉羽 長 <平成30年4月> 日本文学
兼任	講師	森 俊 <平成30年4月> 言語と文化
兼任	講師	山崎 博久 <平成30年4月> 日本国憲法 市民生活と法
兼任	講師	松本 和彦 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	講師	井戸 啓介 <平成30年4月> 認知科学
兼任	講師	尾畑 納子 <平成30年4月> とやま地域学
兼任	講師	ケリー グレイ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	講師	高松 直子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	講師	海見 珠季 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	講師	フィリップ・ケニー <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	岸本 明子 <平成30年4月>
		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	堀 美佐子 <平成30年4月>
		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	上田 誠人 <平成30年4月>
		フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	メノウ ロイック <平成30年4月>
		フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	滝沢 義巳 <平成30年4月>
		フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	山田 従子 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	講師	関 泉子 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	講師	符 麗紅 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	任 建宏 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	応 広建 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	郭 明輝 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	申 英蘭 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月>
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	宋 有幸 <平成30年4月> 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	丸井 一誠 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	泉 一郎 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	米山 弘 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	岡本 啓 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	井上 明浩 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	片貝 仁子 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増

- ・ 徳永 洋介「東洋の歴史と社会」
- ・ 秋葉 悦子／八百 章嘉／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」
- ・ 根岸 秀行／山根 拓「地域の経済と社会・文化」
- ・ 橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」

○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更

- ・ 上記以外の教養教育科目における変更

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
11	4	0	1	16	9	4	0	1	14	11	4	0	1	16
(9)	(4)	(0)	(1)	(14)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1		(該当なし)								
2										
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		(該当なし)								
2										
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<都市デザイン学部 地球システム科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>○学位の英語名称 学士（理学） 「Bachelor of Science in Earth System Science」</p> <p>○施設</p>	<p>学内において授与する学位名称の整合性を図るため、学位の英語名称を以下のとおり変更する。</p> <p>学士（理学） 「Bachelor of Science」</p> <p>学生の修学環境を改善するため、CAD等専門ソフトを使用することのできる情報処理室を1室整備した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会を設置 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会 定例：毎月第3水曜日に開催（4月18日開催 構成員42人中34人出席） ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 定例：毎月第2火曜日に開催（4月10日開催 構成員9人中9人出席） 臨時：随時（4月24日開催 構成員9人中5人出席） ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 開催について検討中 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会 都市デザイン学部の組織及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 都市デザイン学部の教育研究及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 教育内容及び教育方法の改善に関する事項 教育に関する研修会及び講演会の開催に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・入試内容の評価・検討
- ・学生授業アンケートの実施・分析
- ・教育研究指導体制の検討
- ・FD研修会及び講演会の開催

b 実施方法

- ・学部教授会及び学部運営委員会において実施概要について議論を行う。
- ・学部FD委員会で実施概要の詳細を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・現在未実施であるが、年1回以上のFDを開催する予定で検討をする。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後、学部教授会、学部運営委員会及びFD委員会で検討する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・現在学部運営委員会で検討中

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・現在学部運営委員会で検討中

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

A0入試6名（志願者16名）、社会人特別入試1名（同1名）、一般入試前期日程26名（同59名）、および後期日程8名（同176名）と定員より1名多い計41名が入学した。4月2日（月）には新規採用教員5名が着任し、計画通りに学科を開設できた。フィールドにおける「地域」の自然教育も始まっており、概ね満足な目的達成状況であるといえる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・未定

b 公表方法

- ・未定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成35年度以降に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 30年 7月 1日 ）

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名 富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(エンドウ シュンロウ) 遠藤 俊郎 (平成23年4月)		
学部長	(ワタナベ トオル) 渡邊 了 (平成30年4月)		
学科長 (都市・交通 デザイン学 科)	(クボタ ヨシアキ) 久保田 善明 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 学士(工学)	工学関係	4年	40人	13年次人	162人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 () []	—人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.05倍	
志願者数	238 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	195 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	45 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	42 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	42 [—] (—)	— [—] (—)	[] ()						
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	42 [—] (—)		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	42人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	42人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								1
	人間と倫理	1前・後		2								1
	こころの科学	1前・後		2								1
	現代と教育	1前・後		2								1
	日本の歴史と社会	1前・後		2								2
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								1
	日本文学	1前・後		2								1
	外国文学	1前・後		2								1
	言語と文化	1前・後		2								1
	音楽	1前・後		2								1
	美術	1前・後		2								1
	言語表現	1前・後		2								1
	治療の文化史	1前・後		2								1
	異文化間コミュニケーション	1前・後		2								1
異文化理解	1前・後		2								1	
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								1
	経済生活と法	1前・後		2								1
	市民生活と法	1前・後		2								1
	はじめての経済学	1前・後		2								1
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								1
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								1
	市場と企業の関係	1前・後		2								1
	自然科学系	地球と環境	1前・後		2							
生命の世界		1前・後		2								2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								3
	人間と倫理	1前・後		2								2
	こころの科学	1前・後		2								4
	現代と教育	1前・後		2								7
	日本の歴史と社会	1前・後		2								4
	東洋の歴史と社会	1前		2								1
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								4
	日本文学	1前・後		2								6
	外国文学	1前・後		2								2
	言語と文化	1前・後		2								5
	音楽	1前・後		2								4
	美術	1前・後		2								8
	言語表現	1後		2								2
	治療の文化史	1前・後		2								1
異文化間コミュニケーション(未開講)	1前・後		2								1	
異文化理解	1前		2								1	
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								6
	日本国憲法	1前・後		2								5
	国家と市民	1前・後		2								4
	経済生活と法	1前・後		2								3
	市民生活と法	1前・後		2								8
	はじめての経済学	1前・後		2								4
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								4
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								4
	市場と企業の関係	1前・後		2								3
地域の経済と社会・文化	1前・後		2								2	
自然科学系	地球と環境	1前・後		2								5
	生命の世界	1前・後		2								3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	自然科学系	物理の世界	1前・後	2							2
	化学物質の世界	1前・後	2								2
	自然と情報の数理	1前・後	2								1
	社会と情報の数理	1前・後	2								1
	技術の世界	1前・後	2								2
	材料の科学	1前・後	2								3
	生活の科学	1前・後	2								1
	コンピュータの話	1前・後	2			1					
	デザインと生物	1前・後	2								1
医療・健康科学系	医療心理学	1前・後	2								1
	概説医療心理学	1前・後	1								1
	認知科学	1前・後	2								1
	脳科学入門	1前・後	2								1
	生命科学入門	1前・後	1								2
	免疫学入門	1前・後	2								1
	身近な医学	1前・後	2								1
	障害とアクセシビリティ	1前・後	2								1
	医療と地域社会	1前・後	2								2
総合科目系	環境	1前・後	2								1
	ジェンダー	1前・後	2								1
	技術と社会	1前・後	2								2
	現代文化	1前・後	2								1
	人権と福祉	1前・後	2								1
	環日本海	1前・後	2								1
	科学と社会	1前・後	2								1
	アカデミック・デザイン	1前・後	2								1
	ビジネス思考	1前・後	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系	物理の世界	1前・後	2								3
	化学物質の世界	1前・後	2									4
	自然と情報の数理	1前・後	2									4
	社会と情報の数理(未開講)	1前・後	2									1
	技術の世界	1前・後	2									4
	材料の科学	1後	2									3
	生活の科学	1前	2									1
	コンピュータの話	1前	2									2
	デザインと生物	1後	2									3
医療・健康科学系	医療心理学	1前	2									2
	概説医療心理学	1前	1									1
	認知科学	1後	2									1
	脳科学入門	1後	2									2
	生命科学入門	1前	1									2
	免疫学入門	1前	2									2
	身近な医学	1後	2									1
	障害とアクセシビリティ	1前	2									5
	医療と地域社会	1後	2									1
総合科目系	環境	1前・後	2									3
	ジェンダー	1前・後	2									1
	技術と社会	1前・後	2									4
	現代文化	1後	2									1
	人権と福祉	1前・後	2									1
	環日本海	1前	2									2
	科学と社会	1前・後	2									7
	アカデミック・デザイン	1後	2									2
	ビジネス思考	1後	2									2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	平和学入門	1前・後	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1前・後	2							1
		環境と安全管理	1前・後	2							1
		万葉学	1前・後	2							1
		日本海学	1前・後	2							1
		富山大学学	1前・後	2							1
		とやま地域学	1前・後	2							1
		時事的問題	1前・後	2							1
		災害救援ボランティア論	1前・後	2							1
		感性をはぐくむ	1前・後	2							1
		日本事情／芸術文化	1前・後	2							1
		日本事情／自然社会	1前・後	2							1
		学士力・人間力基礎	1前・後	2							1
		富山学	1前・後	2							3
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
産業観光学	1前・後	2							3		
富山のものづくり概論	1前・後	2							4		
富山の地域づくり	1前・後	2							3		
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							7
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							7
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							7
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							7
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	平和学入門	1前	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前	2							1
		新聞投稿に挑戦	1後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1後	2							2
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1前	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
地域ライフプラン	1前・後	2							3		
産業観光学	1後	2							1		
富山のものづくり概論	1前	2							1		
富山の地域づくり	1前	2							4		
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							12
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							10
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							11
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							10
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							7
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							9
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							7
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	外国語系											
	フランス語基礎Ⅱ	1後		1								1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	中国語基礎Ⅰ	1前		1								1
	中国語基礎Ⅱ	1後		1								1
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	朝鮮語基礎Ⅰ	1前		1								1
	朝鮮語基礎Ⅱ	1後		1								1
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	ロシア語基礎Ⅰ	1前		1								1
	ロシア語基礎Ⅱ	1後		1								1
	ロシア語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	ロシア語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	日本語リテラシーⅠ	1前		1								2
	日本語リテラシーⅡ	1後		1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	日本語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	発展多言語演習ドイツ語	2前			1							1
	発展多言語演習中国語	2前			1							1
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前			1							1
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後			1							1	
日本語コミュニケーションⅢ	2前			1							1	
日本語リテラシーⅢ	2前			1							1	
日本語／専門研究	2後			1							1	
日本語／ビジネス	2後			1							1	
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1前・後		1								1
	健康・スポーツ／実技	1前		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	外国語系											
	フランス語基礎Ⅱ	1後		1								1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1								5
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								5
	中国語基礎Ⅰ	1前		1								10
	中国語基礎Ⅱ	1後		1								10
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								7
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								7
	朝鮮語基礎Ⅰ	1前		1								2
	朝鮮語基礎Ⅱ	1後		1								2
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	ロシア語基礎Ⅰ	1前		1								2
	ロシア語基礎Ⅱ	1後		1								2
	ロシア語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	ロシア語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	日本語リテラシーⅠ	1前		1								2
	日本語リテラシーⅡ	1後		1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	日本語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	発展多言語演習ドイツ語	2前			1							1
	発展多言語演習中国語	2前			1							1
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前			1							1
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後			1							1	
日本語コミュニケーションⅢ	2前			1							1	
日本語リテラシーⅢ	2前			1							1	
日本語／専門研究	2後			1							1	
日本語／ビジネス	2後			1							1	
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後		1								8
	健康・スポーツ／実技	1前・後		1								16

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	情報処理—A	1前	2			1					3
	応用情報処理	1後		2							1
学部共通科目	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2			1					
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①		2		1					
	都市デザイン学総論	1③④	2			4	1				7
	インフラ材料	2①	2			1					1
	デザイン思考基礎	2②	2			1					
	物質科学	2②	2								6
	自然災害学	2③	2			1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2		1					
	モビリティデザイン	3①		2							1
	全学横断PBL	3②		1		3	2		1		4
	インターンシップA	3②③		1		6					
	インターンシップB	3②③		2		6					
	地域デザインPBL	3③	1			2	2				6
都市ブランドデザイン	3③		2							1	
科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1					3	
自然科学全般を理解するための基礎科目	微分積分Ⅰ	1①②	2			1					
	微分積分Ⅱ	1③④		2					1		
	線形代数Ⅰ	1①②	2			1					
	線形代数Ⅱ	1③④		2		1					
	力学	1①②	2			1					
	応用数学	2④		2		1					
専攻科目	入門ゼミナール	1①②	2			3	3		1		
	都市と交通を支える建設技術の基礎知識	1①②	2			4					
	工学概論／土木・建築	1③④		2		8	6				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	情報処理—A	1前	2								13
	応用情報処理	1後		2							4
学部共通科目	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2			1					
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①		2		1					
	都市デザイン学総論	1③④	2			4	1				7
	インフラ材料	2①	2			1					1
	デザイン思考基礎	2②	2			1					
	物質科学	2②	2								6
	自然災害学	2③	2			1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2		1					
	モビリティデザイン	3①		2							1
	全学横断PBL	3②		1		3	2		1		4
	インターンシップA	3②③		1		6					
	インターンシップB	3②③		2		6					
	地域デザインPBL	3③	1			2	2				6
都市ブランドデザイン	3③		2							1	
科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1					3	
自然科学全般を理解するための基礎科目	微分積分Ⅰ	1①②	2			1					
	微分積分Ⅱ	1③④		2					1		
	線形代数Ⅰ	1①②	2			1					
	線形代数Ⅱ	1③④		2		1					
	力学	1①②	2			1					
	応用数学	2④		2		1					
専攻科目	入門ゼミナール	1①②	2			3	3		1		
	都市と交通を支える建設技術の基礎知識	1①②	2			4					
	工学概論／土木・建築	1③④		2		8	6				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市・交通デザインに関する専門的学識	プログラミング基礎	2②	2			1					
		プログラミング演習	2④		2		1					
		測量学及び実習	2③	1		1			1			
		グローバル・エンジニアへのいざない	3③④	2		9	6					
	職業指導	3④		2							1	
都市や交通の計画に関する専門的学識	都市・地域創生学	2①		2		3	2					
	都市と交通の基礎理論	2④	2			1						
	都市景観デザイン	2④		2		1			1			
	都市デザイン史	3①		2		4	1		1			
	都市のライフラインと建築設備	3③		2		1						
	都市と建築の環境学	3③		2		1						
	鉄軌道と道路	3④		2		2						
	都市・交通情報通信	3④		2		1						
都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	地球科学概論	1①②		2							3	
	構造力学基礎	2①	2				1					
	地盤工学基礎	2①	2			1						
	水理・水工学基礎	2②	2			1						
	地球情報学	2②		2							1	
	設計製図Ⅰ	2③	2						1			
	設計製図Ⅱ	3②		2		1			1			
	構造力学の応用と橋梁・耐震	2③		2		1	1					
	地盤工学の応用と建設施工	2③		2		1						
	水理・水工学の応用と河川・海岸	2④		2		1						
	構造・材料実験	3①	1						1			
	インフラ設計学	3①		2		2	1					
	コンクリート構造	3①		2			1					
地盤・水理実験	3②	1						1				
アセットマネジメント	3②		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市・交通デザインに関する専門的学識	プログラミング基礎	2②	2			1					
		プログラミング演習	2④		2		1					
		測量学及び実習	2③	1		1			1			
		グローバル・エンジニアへのいざない	3③④	2		9	6					
	職業指導	3④		2							1	
都市や交通の計画に関する専門的学識	都市・地域創生学	2①		2		3	2					
	都市と交通の基礎理論	2④	2			1						
	都市景観デザイン	2④		2		1			1			
	都市デザイン史	3①		2		4	1		1			
	都市のライフラインと建築設備	3③		2		1						
	都市と建築の環境学	3③		2		1						
	鉄軌道と道路	3④		2		2						
	都市・交通情報通信	3④		2		1						
都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	地球科学概論	1①②		2							3	
	構造力学基礎	2①	2				1					
	地盤工学基礎	2①	2			1						
	水理・水工学基礎	2②	2			1						
	地球情報学	2②		2							1	
	設計製図Ⅰ	2③	2						1			
	設計製図Ⅱ	3②		2		1			1			
	構造力学の応用と橋梁・耐震	2③		2		1	1					
	地盤工学の応用と建設施工	2③		2		1						
	水理・水工学の応用と河川・海岸	2④		2		1						
	構造・材料実験	3①	1						1			
	インフラ設計学	3①		2		2	1					
	コンクリート構造	3①		2			1					
地盤・水理実験	3②	1						1				
アセットマネジメント	3②		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	防災と情報	3②	2			1					
		やってみようゼミナールA	3③	1			2		1			
		やってみようゼミナールB	3④	1		2	2					
建築に関する専門的学識	建築論	1-2-9-43②		2								1
	建築と文化	1-2-9-43②		2								1
	人間工学概論	1-2-9-43②		2								1
	人と空間	1-2-9-43②		2								1
	生活と環境	1-2-9-43②		2		1						
	まちづくり	1-2-9-43②		2								1
	建築製図	1-2-9-43②		2								1
	日本・東洋建築史	1-2-9-43②		2								1
	西洋建築史	1-2-9-43④		2								1
	近・現代建築意匠	1-2-9-43④		2								1
	建築計画	1-2-9-43④		2								1
	構造計画	1-2-9-43④		2								1
	建築生産	1-2-9-43④		2								1
	住居論	1-2-9-43④		2		1						
	空間デザインA(シェルター)	2①②		2								3
	空間デザインC(戸建住宅)	2③④		2								2
空間デザインD(集合住宅)	3①②		2								2	
空間デザインE(非木造の特殊建築物)	3③④		2								2	
建築法規	3②		1								1	
卒業論文	卒業論文	4通	10			9	6	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	防災と情報	3②	2			1					
		やってみようゼミナールA	3③	1			2		1			
		やってみようゼミナールB	3④	1		2	2					
建築に関する専門的学識	建築論	1-2-9-43②		2								1
	建築と文化	1-2-9-43②		2								1
	人間工学概論	1-2-9-43②		2								1
	人と空間	1-2-9-43②		2								1
	生活と環境	1-2-9-43②		2		1						
	まちづくり	1-2-9-43②		2								1
	建築製図	1-2-9-43②		2								1
	日本・東洋建築史	1-2-9-43②		2								1
	西洋建築史	1-2-9-43④		2								1
	近・現代建築意匠	1-2-9-43④		2								1
	建築計画	1-2-9-43④		2								1
	構造計画	1-2-9-43④		2								1
	建築生産	1-2-9-43④		2								1
	住居論	1-2-9-43④		2		1						
	空間デザインA(シェルター)	2①②		2								3
	空間デザインC(戸建住宅)	2③④		2								2
空間デザインD(集合住宅)	3①②		2								2	
空間デザインE(非木造の特殊建築物)	3③④		2								2	
建築法規	3②		1								1	
卒業論文	卒業論文	4通	10			9	6	0	0	0		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>○教養教育科目における新規科目の追加 科目充実のため、以下の科目を追加する。 東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦</p> <p>○教養教育科目における配当年次の変更 教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。 言語表現／異文化理解／材料の科学／生活の科学／コンピュータの話／デザインと生物／医療心理学／概説医療心理学／認知科学 脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ／医療と地域社会／現代文化／環日本海 アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門／東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学 環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ 日本事情/芸術文化 / 日本事情/自然社会 / 学士力・人間力基礎／富山学／産業観光学／富山のものづくり概論 富山の地域づくり／発展多言語演習ラテン語Ⅰ／発展多言語演習ラテン語Ⅱ／健康・スポーツ/講義 / 健康・スポーツ/実技</p> <p>○教養教育科目における教員配置の変更 担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。</p>
--

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	147 科目	10 科目	187 科目	30 科目 []	151 科目 [4]	10 科目 []	191 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	異文化間コミュニケーション	2	1前・後	一般	選択	開講年次再検討のため1年次前期の科目を未開講とするが、年次を改めて開講予定
2	社会と情報の数理	2	1前・後	一般	選択	開講年次再検討のため1年次前期の科目を未開講とするが、年次を改めて開講予定
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開講年次再検討のために未開講となった科目についても、年次を改めて確実に開講することにより、影響を最小限に抑えることとしている。
 学生には履修案内や学務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{187} = \boxed{1.06} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,141 m ²			
	運動場用地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²			
	小 計	623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,713 m ²			
	そ の 他	89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,909 m ²			
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	第2大学食堂の増築等の ため(30)		
		223,262 222,893 (223,262 222,893 m ²)	- m ² (m ²)	- m ² (m ²)	223,262 222,893 (223,262 222,893 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 学生の修学環境を改善 するため(30)		
	133 室	215 217 室	635 630 室	30 29 室 (補助職員 12 人)	4 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	都市デザイン学部			48 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定 不能なため、大学 全体の数 新規受入、図書の整理 のため(30)
	都市デザイン学部	1,370,847 [438,793] +363,030 [437,165] (1,370,847 [438,793]) (+363,030 [437,165])	24,815 [7,663] 24,760 [7,653] (24,815 [7,663]) (24,760 [7,653])	12,790 [11,427] 13,004 [11,720] (12,790 [11,427]) (13,004 [11,720])	18,297 18,179 18,297 18,179	38 (38)	0	
	計	1,370,847 [438,793] +363,030 [437,165] (1,370,847 [438,793]) (+363,030 [437,165])	24,815 [7,663] 24,760 [7,653] (24,815 [7,663]) (24,760 [7,653])	12,790 [11,427] 13,004 [11,720] (12,790 [11,427]) (13,004 [11,720])	18,297 18,179 18,297 18,179	38 (38)	0	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		【閲覧座席数】学習環 境整備のため 【収納可能冊数】書架 を購入して、書棚を増 やしたため、収納でき る冊数が増加した (30)		
	13,855 m ²		1,566 1,567	1,056,750 1,043,783				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プール・テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	富山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部			3年次						
人文学科	4	170	7	725	学士(文学)	1.02	昭和52	富山県富山市五福3190番地	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
計		170	14	739					
人間発達科学部									
発達教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	1.04	平成17	富山県富山市五福3190番地	
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士(教育学)	1.05	平成17	同上	
計		170	-	680					
経済学部									
(昼間主コース)			3年次						
経済学科	4	120	4	525	学士(経済学)	1.04	昭和28	富山県富山市五福3190番地	
経営学科	4	100	4	445	学士(経営学)	1.01	昭和49	同上	
経営法学科	4	85	2	370	学士(法学)	1.03	昭和54	同上	
(夜間主コース)			3年次10(各学科共通)						
経済学科	4	10		70	学士(経済学)	1.07	昭和61	同上	
経営学科	4	10		70	学士(経営学)	1.06	昭和61	同上	
経営法学科	4	10		70	学士(法学)	1.07	昭和61	同上	
計		335	20	1,570					収容定員における編入学者数は、学部計に含める
理学部			3年次4(各学科共通)						
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	昭和52	富山県富山市五福3190番地	
物理学科	4	40	1	160	学士(理学)	1.04	昭和52	同上	
化学科	4	35	1	140	学士(理学)	1.04	昭和52	同上	
生物学科	4	35	1	140	学士(理学)	1.08	昭和52	同上	
地球科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和52	同上	平成30年より学生募集停止
生物圏環境科学科	4	30	1	120	学士(理学)	1.10	平成5	同上	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
計		190	8	768					

医学部									
医学科	6	105	2年次5	630	学士 (医学)	1.00	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	320	学士 (看護学)	1.00	平成5	同上	
計		185	45	995					取容定員における編入学生数は、学部計に含める
薬学部									
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.04	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
創薬科学科	4	50	-	200	学士 (薬科学)	1.05	平成18	同上	
計		105	-	530					
工学部									
工学科	4	365		365	学士 (工学)	1.01	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
環境応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
材料機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
計		365	-	365					
芸術文化学部									
芸術文化学科	4	110	-	455	学士 (芸術文化学)	1.03	平成17	富山県高岡市二上町180番地	
計		110	-	455					
都市デザイン学部									
地球システム科学科	4	40	-	40	学士 (理学)	1.02	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	40	-	40	学士 (工学)	1.05	平成30	同上	
材料デザイン工学科	4	60	-	60	学士 (工学)	1.10	平成30	同上	
計		140	-	140					

大学の名称	富山大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編 入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科 (修士課程)									
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	1.06	平成23	富山県富山市五福3190番地	
計		8	-	16					
人間発達科学研究科 (修士課程)									
発達教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.58	平成23	富山県富山市五福3190番地	
発達環境専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.24	平成23	同上	
計		12	-	24					
経済学研究科 (修士課程)									
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士 (経済学)	1.33	平成3	富山県富山市五福3190番地	
企業経営専攻	2	12	-	24	修士 (経営学)	0.95	平成3	同上	
計		18	-	36					
芸術文化学研究科 (修士課程)									
芸術文化学専攻	2	8	-	16	修士 (芸術文化 学)	1.06	平成23	富山県高岡市二上町180番地	
計		8	-	16					
生命融合科学教育部 (博士課程)									
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士 (医学)	0.74	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.41	平成18	富山県富山市五福3190番地	
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.83	平成18	同上	
計		17	-	60					

医学薬学教育部									
(修士課程)									
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.30	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学専攻	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	平成18	同上	平成27年より学生募集停止
計		15	-	30					
(博士前期課程)									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.46	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.25	平成22	同上	
計		51	-	102					
(博士後期課程)									
看護学専攻	3	3	-	9	修士 (看護学)	1.22	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	3	8	-	24	修士 (薬科学)	1.33	平成24	同上	
計		11	-	33					
(博士課程)									
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	0.95	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士 (医学)	0.53	平成18	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.43	平成24	同上	
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士 (薬学)	-	平成18	同上	平成24年より学生募集停止
計		29		116					
理工学教育部									
(修士課程)									
数学専攻	2	8	-	16	修士 (理学)	0.81	平成18	富山県富山市五福3190番地	
物理学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.24	平成18	同上	
化学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.62	平成18	同上	
生物学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.45	平成18	同上	
地球科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.05	平成18	同上	
生物環境科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.10	平成18	同上	
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.36	平成18	同上	
知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.27	平成18	同上	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.14	平成18	同上	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.24	平成24	同上	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士 (工学)	1.20	平成24	同上	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.05	平成24	同上	
計		217	-	434					

(博士課程)								
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士 (理学又は工学)	1.46	平成18	富山県富山市五福3190番地
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	1.25	平成18	同上
新エネルギー科学専攻	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.77	平成18	同上
地球生命環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	0.66	平成18	同上
計		16	-	48				
教職実践開発研究科								
(専門職学位課程)								
教職実践開発専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.96	平成28	富山県富山市五福3190番地
計		14	-	28				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
		コンピュータの話 情報処理-A データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・交通情報通信 卒業論文
専	教授	原 隆史 <平成30年4月>
		入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 地盤工学基礎 地盤工学の応用と建設施工 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 鉄軌道と道路 アセットマネジメント 卒業論文
専	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 水理・水工学基礎 水理・水工学の応用と河川・海岸 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 地域デザインPBL 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 測量学及び実習 グローバル・エンジニアへのいざない 都市と交通の基礎理論 卒業論文

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
		データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・交通情報通信 卒業論文
専	教授	原 隆史 <平成30年4月>
		入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 地盤工学基礎 地盤工学の応用と建設施工 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 鉄軌道と道路 アセットマネジメント 卒業論文
専	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 水理・水工学基礎 水理・水工学の応用と河川・海岸 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 地域デザインPBL 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 測量学及び実習 グローバル・エンジニアへのいざない 都市と交通の基礎理論 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	金山 洋一 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市デザイン史 鉄軌道と道路 卒業論文
専	教授	久保田 善明 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅱ 構造力学の応用と橋梁・耐震 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月>
		デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
専	教授	堀 祐治 <平成30年4月>
		工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市のライフラインと建築設備 都市と建築の環境学 やってみようゼミナールB 生活と環境 住居論 卒業論文
専	准教授	河野 哲也 <平成30年4月>
		インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 力学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 インフラ設計学 コンクリート構造 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	准教授	鈴木 康夫 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 応用数学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 構造力学基礎 構造力学の応用と橋梁・耐震 やってみようゼミナールA 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	金山 洋一 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市デザイン史 鉄軌道と道路 卒業論文
専	教授	久保田 善明 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅱ 構造力学の応用と橋梁・耐震 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月>
		デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
専	教授	堀 祐治 <平成30年4月>
		工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市のライフラインと建築設備 都市と建築の環境学 やってみようゼミナールB 生活と環境 住居論 卒業論文
専	准教授	河野 哲也 <平成30年4月>
		インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 力学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 インフラ設計学 コンクリート構造 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	准教授	鈴木 康夫 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 応用数学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 構造力学基礎 構造力学の応用と橋梁・耐震 やってみようゼミナールA 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>
		自然災害学 インターンシップA インターンシップB 線形代数Ⅱ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 防災と情報 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>
		全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 微分積分Ⅰ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 卒業論文
専	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 線形代数Ⅰ 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 やってみようゼミナールA 卒業論文
専	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>
		データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎 インターンシップA インターンシップB 工学概論/土木・建築 プログラミング基礎 プログラミング演習 グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
専	助教	竜田 尚希 <平成30年4月>
		微分積分Ⅱ 入門ゼミナール 構造・材料実験 地盤・水理実験 やってみようゼミナールA
専	助教	阿久井 康平 <平成30年4月>
		全学横断PBL 測量学及び実習 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>
		自然災害学 インターンシップA インターンシップB 線形代数Ⅱ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 防災と情報 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>
		全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 微分積分Ⅰ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 卒業論文
専	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 線形代数Ⅰ 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 やってみようゼミナールA 卒業論文
専	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>
		データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎 インターンシップA インターンシップB 工学概論/土木・建築 プログラミング基礎 プログラミング演習 グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
専	助教	竜田 尚希 <平成30年4月>
		微分積分Ⅱ 入門ゼミナール 構造・材料実験 地盤・水理実験 やってみようゼミナールA
専	助教	阿久井 康平 <平成30年4月>
		全学横断PBL 測量学及び実習 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	清水 正明 <平成30年4月>
		地球科学概論
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学 地球科学概論
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 地球科学概論
兼任	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		科学と社会 自然災害学
兼任	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		地球と環境 日本海学 地球科学概論
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		物理の世界 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	才川 清二 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	清水 正明 <平成30年4月>
		地球科学概論
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学 地球科学概論
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 地球科学概論
兼任	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		自然災害学
兼任	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		地球科学概論
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
兼任	教授	才川 清二 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		応用情報処理 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン まちづくり
兼任	教授	松政 貞治 <平成30年4月>
		建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	講師	松政 貞治 <平成30年4月>
		建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	上原 雄史 <平成30年4月>
		人と空間 建築計画 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	教授	大氏 正嗣 <平成30年4月>
		構造計画
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月>
		哲学のすすめ 人間と倫理 医療と地域社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		物質科学
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン まちづくり
兼任	教授	松政 貞治 <平成30年4月>
		建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	講師	松政 貞治 <平成30年4月>
		建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	上原 雄史 <平成30年4月>
		人と空間 建築計画 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	教授	大氏 正嗣 <平成30年4月>
		構造計画
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月>
		医療と地域社会
兼任	教授	永井 龍男 <平成30年4月>
		哲学のすすめ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	喜田 裕子 ＜平成30年4月＞ こころの科学 学士力・人間力基礎
兼任	教授	笹田 茂樹 ＜平成30年4月＞ 現代と教育
兼任	教授	鈴木 景二 ＜平成30年4月＞ 日本の歴史と社会 万葉学
兼任	教授	西田谷 洋 ＜平成30年4月＞ 日本文学
兼任	教授	佐藤 真基子 ＜平成30年4月＞ 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	小助川 貞次 ＜平成30年4月＞ 言語と文化 アカデミック・デザイン

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	田畑 真美 ＜平成30年4月＞ 人間と倫理
兼任	教授	喜田 裕子 ＜平成30年4月＞ 学士力・人間力基礎
兼任	教授	佐藤 徳 ＜平成30年4月＞ こころの科学
兼任	教授	笹田 茂樹 ＜平成30年4月＞ 現代と教育
兼任	教授	磯崎 尚子 ＜平成30年4月＞ 現代と教育
兼任	教授	竹村 哲 ＜平成30年4月＞ 現代と教育
兼任	教授	新夕 義典 ＜平成30年4月＞ 現代と教育
兼任	教授	鈴木 景二 ＜平成30年4月＞ 日本の歴史と社会
兼任	教授	徳永 洋介 ＜平成30年4月＞ 東洋の歴史と社会
兼任	教授	小野 直子 ＜平成30年4月＞ 西洋の歴史と社会
兼任	教授	徳橋 曜 ＜平成30年4月＞ 西洋の歴史と社会
兼任	教授	西田谷 洋 ＜平成30年4月＞ 日本文学
兼任	教授	田村 俊介 ＜平成30年4月＞ 日本文学 万葉学
兼任	教授	佐藤 真基子 ＜平成30年4月＞ 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	赤尾 千波 ＜平成30年4月＞ 外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	小助川 貞次 ＜平成30年4月＞ アカデミック・デザイン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月>
		経済生活と法
兼任	教授	唐渡 広志 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境 富山から考える震災・復興学
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月>
		経営資源のとりえ方

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 満彦 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	宮井 清暢 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月>
		国家と市民
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月>
兼任	教授	竹地 潔 <平成30年4月>
		国家と市民
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月>
		国家と市民 市民生活と法
兼任	教授	福井 修 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	橋口 賢一 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	香川 崇 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	唐渡 広志 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	岩田 真一郎 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境
兼任	教授	酒井 富夫 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ
兼任	教授	垣田 直樹 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ
兼任	教授	新里 泰孝 <平成30年4月>
		富山から考える震災・復興学
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月>
		経営資源のとりえ方

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月> 市場と企業の関係 環日本海
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月> 生命の世界
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	柘植 清志 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月> 自然と情報の数理 情報処理-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	馬 駿 <平成30年4月> 経営資源のとりえ方
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月>
兼任	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係
兼任	教授	堂谷 昌孝 <平成30年4月> 市場と企業の関係
兼任	教授	岩内 秀徳 <平成30年4月> 環日本海
兼任	教授	根岸 秀行 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	山根 拓 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	丸茂 克美 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月>
兼任	教授	松田 恒平 <平成30年4月> 生命の世界
兼任	教授	田端 俊英 <平成30年4月> 生命の世界
兼任	教授	池本 弘之 <平成30年4月> 物理の世界
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月>
兼任	教授	柘植 清志 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	倉光 英樹 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	井川 善也 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月>

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	横山 一憲 <平成30年4月>
		社会と情報の数理
兼任	教授	岡田 裕之 <平成30年4月>
		技術の世界 情報処理—A
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	堀 悦郎 <平成30年4月>
		医療心理学 概説医療心理学 認知科学 脳科学入門
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月>
		生命科学入門

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	藤田 景子 <平成30年4月>
		自然と情報の数理
兼任	教授	菊池 万里 <平成30年4月>
		自然と情報の数理
兼任	教授	横山 一憲 <平成30年4月>
兼任	教授	岡田 裕之 <平成30年4月>
		情報処理—A
兼任	教授	平澤 良男 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	手崎 衆 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	堀江 秀夫 <平成30年4月>
		生活の科学
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	岩坪 美兼 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	堀 悦郎 <平成30年4月>
		医療心理学 概説医療心理学 脳科学入門 身近な医学
兼任	教授	比嘉 勇人 <平成30年4月>
		医療心理学
兼任	教授	森 寿 <平成30年4月>
		脳科学入門
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月>
		生命科学入門
兼任	教授	宮 一志 <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	教授	遠田 浩司 <平成30年4月>
		環境
兼任	教授	佐藤 裕 <平成30年4月>
		ジェンダー

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松井 隆幸 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月>
		ビジネス思考
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月>
		東アジア共同体論—政治・経済・文化—
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月>
		富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	奥村 譲 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ—A 英語リテラシーⅡ—A 英語コミュニケーションⅠ—A 英語コミュニケーションⅡ—A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	田代 発造 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	川口 清司 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	松井 隆幸 <平成30年4月>
		環日本海
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	波多野 雄治 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月>
		ビジネス思考
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月>
		東アジア共同体論—政治・経済・文化— 産業と経済を学ぶ
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月>
		日本海学
兼任	教授	奥寺 敬 <平成30年4月>
		災害救援ボランティア論
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月>
		地域ライフプラン 産業観光学 富山の地域づくり
兼任	教授	奥村 譲 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ—A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地球情報学
兼任	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地球と環境 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月> 物理の世界
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月> 材料の科学 物質科学
兼任	准教授	吉田 正道 <平成30年4月> 技術の世界
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <平成30年4月> 空間デザインA (シェルター)
兼任	准教授	河原 雅典 <平成30年4月> 人間工学概論
兼任	准教授	横山 天心 <平成30年4月> 建築製図 空間デザインA (シェルター) 空間デザインC (戸建住宅) 空間デザインD (集合住宅) 空間デザインE (非木造の特殊建築物)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	栗本 猛 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	教授	小川 晃一 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地球情報学
兼任	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月> 材料の科学 物質科学
兼任	准教授	吉田 正道 <平成30年4月>
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <平成30年4月> 空間デザインA (シェルター)
兼任	准教授	河原 雅典 <平成30年4月> 人間工学概論
兼任	准教授	横山 天心 <平成30年4月> 建築製図 空間デザインA (シェルター) 空間デザインC (戸建住宅) 空間デザインD (集合住宅) 空間デザインE (非木造の特殊建築物)
兼任	准教授	池田 真治 <平成30年4月> 哲学のすすめ
兼任	准教授	澤田 哲生 <平成30年4月> 人間と倫理
兼任	准教授	坪見 博之 <平成30年4月> こころの科学
兼任	准教授	石津 憲一郎 <平成30年4月> こころの科学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷口 美樹 <平成30年4月> 日本の歴史と社会 治療の文化史 ジェンダー
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学
兼任	准教授	池田 文佑 <平成30年4月> 現代社会論 現代文化 平和学入門

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	若山 育代 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	准教授	仲嶺 政光 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	准教授	谷口 美樹 <平成30年4月> 日本の歴史と社会 治療の文化史
兼任	准教授	熊谷 隆之 <平成30年4月> 日本の歴史と社会
兼任	准教授	高橋 浩二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月>
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	大西 吉之 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	小谷 瑛輔 <平成30年4月> 日本文学
兼任	准教授	安藤 智子 <平成30年4月> 言語と文化
兼任	准教授	野澤 豊一 <平成30年4月> 言語と文化
兼任	准教授	宮城 信 <平成30年4月> 言語と文化
兼任	准教授	島添 貴美子 <平成30年4月> 音楽
兼任	准教授	沖 和宏 <平成30年4月> 美術
兼任	准教授	池田 文佑 <平成30年4月> 現代文化 平和学入門
兼任	准教授	林 夏生 <平成30年4月> 現代社会論
兼任	准教授	伊藤 智樹 <平成30年4月> 現代社会論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 孝子 ＜平成30年 4月＞
		生活の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	志賀 文哉 ＜平成30年 4月＞
		現代社会論
兼任	准教授	中村 真由美 ＜平成30年 4月＞
		現代社会論
兼任	准教授	神山 智美 ＜平成30年 4月＞
		日本国憲法
兼任	准教授	八百 章嘉 ＜平成30年 4月＞
		国家と市民
兼任	准教授	辻本 淳史 ＜平成30年 4月＞
		国家と市民
兼任	准教授	岩本 学 ＜平成30年 4月＞
		市民生活と法
兼任	准教授	森嶋 秀紀 ＜平成30年 4月＞
		市民生活と法
兼任	准教授	松山 淳 ＜平成30年 4月＞
		はじめての経済学
兼任	准教授	山田 潤司 ＜平成30年 4月＞
		はじめての経済学
兼任	准教授	櫻田 貴道 ＜平成30年 4月＞
		経営資源のとらえ方
兼任	准教授	廣橋 祥 ＜平成30年 4月＞
		経営資源のとらえ方
兼任	准教授	若林 文靖 ＜平成30年 4月＞
		市場と企業の関係
兼任	准教授	高崎 一朗 ＜平成30年 4月＞
		生命の世界
兼任	准教授	柿崎 充 ＜平成30年 4月＞
		物理の世界
兼任	准教授	大澤 力 ＜平成30年 4月＞
		化学物質の世界
兼任	准教授	上田 肇一 ＜平成30年 4月＞
		自然と情報の数理
兼任	准教授	船井 賢治 ＜平成30年 4月＞
		技術の世界
兼任	准教授	藤本 孝子 ＜平成30年 4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	片桐 達雄 <平成30年4月>
		生命科学入門 免疫学入門
兼任	准教授	中川 圭子 <平成30年4月>
		身近な医学
兼任	准教授	高山 龍太郎 <平成30年4月>
		時事的問題
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月>
		災害救援ボランティア論
兼任	准教授	渡邊 雅志 <平成30年4月>
		感性をはぐぐむ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	辻合 秀一 <平成30年4月>
		コンピュータの話
兼任	准教授	高島 圭史 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	准教授	片桐 達雄 <平成30年4月>
		生命科学入門 免疫学入門
兼任	准教授	岸 裕幸 <平成30年4月>
		免疫学入門
兼任	准教授	中川 圭子 <平成30年4月>
兼任	准教授	水内 豊和 <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	准教授	田中 いずみ <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	准教授	西村 優紀美 <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	准教授	雨宮 洋美 <平成30年4月>
		環境
兼任	准教授	原 正憲 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	准教授	橋爪 隆 <平成30年4月>
		ビジネス思考
兼任	准教授	宮武 滝太 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	准教授	奥 敬一 <平成30年4月>
		富山大学学 富山学
兼任	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月>
		時事的問題
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月>
兼任	准教授	渡邊 雅志 <平成30年4月>
		感性をはぐぐむ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	水野 真理子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	山岸 倫子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり
兼任	准教授	結城 史郎 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	竹腰 佳誉子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月>
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月>
兼任	准教授	水野 真理子 <平成30年4月>
兼任	准教授	山岸 倫子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	阿部 美規 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語
兼任	准教授	梁 有紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	和田 とも美 <平成30年4月>
		朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	武田 昭文 <平成30年4月>
		ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	水谷 秀樹 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	准教授	佐伯 聡史 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/実技
兼任	准教授	森 雅之 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A
兼任	准教授	荻戸 立夫 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A
兼任	准教授	沖野 浩二 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A 応用情報処理
兼任	准教授	宮澤 眞宏 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A
兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月>
		応用情報処理
兼任	特命 准教授	尾山 真 <平成30年4月>
		富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	和田 とも美 <平成30年4月>
		朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	上保 敏 <平成30年4月>
		朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月>
		ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	田中 信之 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	水谷 秀樹 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/実技
兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	准教授	佐伯 聡史 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/実技
兼任	准教授	森 雅之 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A
兼任	准教授	荻戸 立夫 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A
兼任	准教授	沖野 浩二 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A 応用情報処理
兼任	准教授	宮澤 眞宏 <平成30年4月>
		情報処理Ⅰ-A
兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月>
		応用情報処理
兼任	特命 准教授	尾山 真 <平成30年4月>
		地域ライフプラン 富山の地域づくり

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	佐山 三千雄 <平成30年4月>
		言語表現
兼任	講師	柴田 啓司 <平成30年4月>
		コンピュータの話 情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	講師	小田 夕香理 <平成30年4月>
		英語リテラシーI-A 英語リテラシーII-A 英語コミュニケーションI-A 英語コミュニケーションII-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 龍彰 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	講師	和田 充紀 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	講師	松田 愛 <平成30年4月>
		美術
兼任	講師	三宮 千佳 <平成30年4月>
		美術
兼任	講師	佐山 三千雄 <平成30年4月>
		言語表現
兼任	講師	増田 友樹 <平成30年4月>
		経済生活と法
兼任	講師	木戸 茜 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	講師	大橋 隼人 <平成30年4月>
		物理の世界 情報処理-A
兼任	講師	稻積 泰宏 <平成30年4月>
		コンピュータの話
兼任	教授	柴田 啓司 <平成30年4月>
		情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	講師	田口 明 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	講師	小田 夕香理 <平成30年4月>
兼任	講師	高野 登 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションII
兼任	講師	神野 賢治 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	講師	田邊 元 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義
兼任	講師	澤 聡美 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/実技

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	特命講師	桶谷 文哲 ＜平成30年4月＞ 障害とアクセシビリティ
兼任	助教	堀田 耕平 ＜平成30年4月＞ 全学横断PBL
兼任	助教	山根 岳志 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A
兼任	特命助教	定村 誠 ＜平成30年4月＞ 富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	講師	高道 一榮 ＜平成30年4月＞ 建築生産
兼任	講師	栗島 正憲 ＜平成30年4月＞ 建築法規
兼任	講師	松井 賢二 ＜平成33年4月＞ 職業指導

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	村山 立人 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A
兼任	講師	本田 和博 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A
兼任	講師	山下 和也 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A 応用情報処理
兼任	講師	遠山 和大 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A 応用情報処理
兼任	特命講師	桶谷 文哲 ＜平成30年4月＞ 障害とアクセシビリティ
兼任	助教	堀田 耕平 ＜平成30年4月＞ 全学横断PBL
兼任	助教	山根 岳志 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A
兼任	助教	加瀬 篤志 ＜平成30年4月＞ 自然と情報の数理
兼任	助教	赤丸 悟士 ＜平成30年4月＞ 科学と社会
兼任	特命助教	定村 誠 ＜平成30年4月＞ 地域ライフプラン 富山の地域づくり
兼任	講師	高道 一榮 ＜平成30年4月＞ 建築生産
兼任	講師	栗島 正憲 ＜平成30年4月＞ 建築法規
兼任	講師	松井 賢二 ＜平成33年4月＞ 職業指導
兼任	講師	市村 俊信 ＜平成30年4月＞ 哲学のすすめ
兼任	講師	奥野 美友紀 ＜平成30年4月＞ 日本文学
兼任	講師	朝木 敏子 ＜平成30年4月＞ 日本文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	山田 従子 <平成30年4月>
					中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
			兼任	講師	関 泉子 <平成30年4月>
					中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
			兼任	講師	符 麗紅 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	任 建宏 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	応 広建 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	郭 明輝 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	申 英蘭 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月>
					中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	宋 有幸 <平成30年4月>
					朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	丸井 一誠 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	泉 一郎 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	米山 弘 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	岡本 啓 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	井上 明浩 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	片貝 仁子 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増

- ・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」
- ・秋葉 悦子／八百 章嘉／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」
- ・根岸 秀行／山根 拓「地域の経済と社会・文化」
- ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」

○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更

- ・上記以外の教養教育科目における変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
9	6	0	2	17	9	6	0	2	17	9	6	0	2	17
(9)	(6)	(0)	(2)	(17)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>○学位の英語名称 学士（工学） 「Bachelor of Civil Engineering」</p> <p>○施設</p>	<p>学内において授与する学位名称の整合性を図るため、学位の英語名称を以下のとおり変更する。</p> <p>学士（工学） 「Bachelor of Engineering」</p> <p>学生の修学環境を改善するため、CAD等専門ソフトを使用することのできる情報処理室を1室整備した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会を設置 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会 定例：毎月第3水曜日に開催（4月18日開催 構成員42人中34人出席） ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 定例：毎月第2火曜日に開催（4月10日開催 構成員9人中9人出席） 臨時：随時（4月24日開催 構成員9人中5人出席） ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 開催について検討中 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会 都市デザイン学部の組織及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 都市デザイン学部の教育研究及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 教育内容及び教育方法の改善に関する事項 教育に関する研修会及び講演会の開催に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・入試内容の評価・検討
- ・学生授業アンケートの実施・分析
- ・教育研究指導体制の検討
- ・FD研修会及び講演会の開催

b 実施方法

- ・学部教授会及び学部運営委員会において実施概要について議論を行う。
- ・学部FD委員会で実施概要の詳細を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・現在未実施であるが、年1回以上のFDを開催する予定で検討をする。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後、学部教授会、学部運営委員会及びFD委員会で検討する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・現在学部運営委員会で検討中

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・現在学部運営委員会で検討中

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今年4月の学科開設にあたり、着任を予定していた教員は全員着任し、17名の教員による新学科の体制を予定通り開始することができた。その他、施設整備、授業科目等も計画通りに進んでおり、満足な達成状況である。

入学定員40名の内訳として、AO入試10名、特別入試（推薦）5名、特別入試（社会人・帰国生徒）若干名、一般入試（前期日程）15名、一般入試（後期日程）10名としていたが、事前の積極的な広報活動や高校訪問・模擬授業等の取組により、志願者数は定員を大幅に上回り、AO入試47名（4.7倍）、特別入試（推薦）28名（5.6倍）、一般入試（前期日程）81名（5.4倍）、一般入試（後期日程）79名（7.9倍）と高い競争倍率となった。最終的に選抜を勝ち抜いた42名が入学した。来年度も引き続き積極的な広報活動を行い、高倍率を維持し、優秀な学生の確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・未定

b 公表方法

- ・未定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成35年度以降に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 7月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名 富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(エンドウ シュンロウ) 遠藤 俊郎 (平成23年4月)		
学部長	(ワタナベ トオル) 渡邊 了 (平成30年4月)		
学科長 (材料デザイン工学科)	(サイキ アツシ) 佐伯 淳 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市デザイン学部 材料デザイン工学科 学士(工学)	工学関係	4年	60人	3年次 2人	244人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 () []	—人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.10倍	
志願者数	256 () [3]	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	213 () [2]	() () []								
合格者数	74 () [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	66 () [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.10									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	66 [2] (-)	— [—] (-)	[] ()						
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	66 [2] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	66 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	66 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<都市デザイン学部 材料デザイン工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2							1
		人間と倫理	1前・後	2							1
		こころの科学	1前・後	2							1
		現代と教育	1前・後	2							1
		日本の歴史と社会	1前・後	2							2
		西洋の歴史と社会	1前・後	2							1
		日本文学	1前・後	2							1
		外国文学	1前・後	2							1
		言語と文化	1前・後	2							1
		音楽	1前・後	2							1
		美術	1前・後	2							1
		言語表現	1前・後	2							1
		治療の文化史	1前・後	2							1
		異文化間コミュニケーション	1前・後	2							1
		異文化理解	1前・後	2							1
社会科学系	現代社会論	1前・後	2							1	
	日本国憲法	1前・後	2							1	
	経済生活と法	1前・後	2							1	
	市民生活と法	1前・後	2							1	
	はじめての経済学	1前・後	2							1	
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2							1	
	経営資源のとらえ方	1前・後	2							1	
	市場と企業の関係	1前・後	2							1	
自然科学系	地球と環境	1前・後	2							6	
	生命の世界	1前・後	2		1					1	
	物理の世界	1前・後	2		1	1					
	化学物質の世界	1前・後	2							2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								3
		人間と倫理	1前・後	2								2
		こころの科学	1前・後	2								4
		現代と教育	1前・後	2								7
		日本の歴史と社会	1前・後	2								4
		東洋の歴史と社会	1前	2								1
		西洋の歴史と社会	1前・後	2								4
		日本文学	1前・後	2								6
		外国文学	1前・後	2								2
		言語と文化	1前・後	2								5
		音楽	1前・後	2								4
		美術	1前・後	2								8
		言語表現	1後	2								2
		治療の文化史	1前・後	2								1
		異文化間コミュニケーション	1前・後	2								1
異文化理解	1前	2								1		
社会科学系	現代社会論	1前・後	2								6	
	日本国憲法	1前・後	2								5	
	国家と市民	1前・後	2								4	
	経済生活と法	1前・後	2								3	
	市民生活と法	1前・後	2								8	
	はじめての経済学	1前・後	2								4	
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2								4	
	経営資源のとらえ方	1前・後	2								4	
市場と企業の関係	1前・後	2								3		
地域の経済と社会・文化	1前・後	2								2		
自然科学系	地球と環境	1前・後	2								5	
	生命の世界	1前・後	2								3	
	物理の世界	1前・後	2								3	
	化学物質の世界	1前・後	2								4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系	自然と情報の数理	1前・後	2								1
		社会と情報の数理	1前・後	2								1
		技術の世界	1前・後	2			1					1
		材料の科学	1前・後	2			2	1				
		生活の科学	1前・後	2								1
		コンピュータの話	1前・後	2								2
		デザインと生物	1前・後	2								1
	医療・健康科学系	医療心理学	1前・後	2								1
		概説医療心理学	1前・後	1								1
		認知科学	1前・後	2								1
		脳科学入門	1前・後	2								1
		生命科学入門	1前・後	1								2
		免疫学入門	1前・後	2								1
		身近な医学	1前・後	2								1
		障害とアクセシビリティ	1前・後	2								1
		医療と地域社会	1前・後	2								2
	総合科目系	環境	1前・後	2								1
		ジェンダー	1前・後	2								1
		技術と社会	1前・後	2								2
		現代文化	1前・後	2								1
		人権と福祉	1前・後	2								1
		環日本海	1前・後	2								1
		科学と社会	1前・後	2								1
		アカデミック・デザイン	1前・後	2								1
		ビジネス思考	1前・後	2								1
		平和学入門	1前・後	2								1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後	2								1
総合科目系	富山から考える震災・復興学	1前・後	2								1	
	環境と安全管理	1前・後	2								1	
	万葉学	1前・後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系	自然と情報の数理	1前・後	2								4
		社会と情報の数理(未開講)	1前・後	2								1
		技術の世界	1前・後	2								4
		材料の科学	1前・後	2			2	1				
		生活の科学	1前・後	2								1
		コンピュータの話	1前・後	2								2
		デザインと生物	1前・後	2								3
	医療・健康科学系	医療心理学	1前	2								2
		概説医療心理学	1前	1								1
		認知科学	1後	2								1
		脳科学入門	1後	2								2
		生命科学入門	1前	1								2
		免疫学入門	1前	2								2
		身近な医学	1後	2								1
		障害とアクセシビリティ	1前	2								5
		医療と地域社会	1後	2								1
	総合科目系	環境	1前・後	2								3
		ジェンダー	1前・後	2								1
		技術と社会	1前・後	2			2					2
		現代文化	1後	2								1
		人権と福祉	1前・後	2								1
		環日本海	1前	2								2
		科学と社会	1前・後	2								7
		アカデミック・デザイン	1後	2								2
		ビジネス思考	1後	2								2
		平和学入門	1前	2								1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前	2								1
新聞投稿に挑戦	1後	2								1		
総合科目系	富山から考える震災・復興学	1後	2								1	
	環境と安全管理	1後	2								2	
	万葉学	1前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	総合科目系	日本海学	1前・後	2								1
		富山大学学	1前・後	2								1
		とやま地域学	1前・後	2								1
		時事的問題	1前・後	2								1
		災害救援ボランティア論	1前・後	2								1
		感性をはぐくむ	1前・後	2								1
		日本事情／芸術文化	1前・後	2								1
		日本事情／自然社会	1前・後	2								1
		学士力・人間力基礎	1前・後	2								1
		富山学	1前・後	2								3
		地域ライフプラン	1前・後	2								3
		産業観光学	1前・後	2								3
		富山のものづくり概論	1前・後	2			1					3
		富山の地域づくり	1前・後	2								3
外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1								7	
	英語リテラシーⅡ-A	1後	1								7	
	英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1								7	
	英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1								7	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1								1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1								1	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1								1	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1								1	
	フランス語基礎Ⅰ	1前	1								1	
	フランス語基礎Ⅱ	1後	1								1	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1								1	
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1								1	
	中国語基礎Ⅰ	1前	1								1	
	中国語基礎Ⅱ	1後	1								1	
	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1								1	
	中国語コミュニケーションⅡ	1後	1								1	
朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	総合科目系	日本海学	1後	2								1
		富山大学学	1前	2								1
		とやま地域学	1前	2								1
		時事的問題	1前	2								1
		災害救援ボランティア論	1後	2								1
		感性をはぐくむ	1前	2								1
		日本事情／芸術文化	1後	2								1
		日本事情／自然社会	1前	2								1
		学士力・人間力基礎	1前	2								1
		富山学	1前	2								1
		地域ライフプラン	1前・後	2								3
		産業観光学	1後	2								1
		富山のものづくり概論	1前	2			1					
		富山の地域づくり	1前	2								4
外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1								12	
	英語リテラシーⅡ-A	1後	1								10	
	英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1								11	
	英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1								11	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1								10	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1								7	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1								9	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1								7	
	フランス語基礎Ⅰ	1前	1								1	
	フランス語基礎Ⅱ	1後	1								1	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1								5	
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1								5	
	中国語基礎Ⅰ	1前	1								10	
	中国語基礎Ⅱ	1後	1								10	
	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1								7	
	中国語コミュニケーションⅡ	1後	1								7	
朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1								2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後		1						1
		日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1
		日本語リテラシーⅢ	2前		1						1
	日本語／専門研究	2後		1						1	
	日本語／ビジネス	2後		1						1	
	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1前・後	1					1		3
1前			1		1						
健康・スポーツ／実技		1前	1								
情報処理系	情報処理—A	1前	2					1		3	
	応用情報処理	1後	2		1						
(学部共通科目)	問題解決能力・デザイン思考	データサイエンスⅠ／確率統計	1②	2						1	
		データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2						1	
		データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①	2						1	
		都市デザイン学総論	1③④	2		6				6	
(学部共通科目)	問題解決能力・デザイン思考	インフラ材料	2①	2		1				1	
		物質科学	2②	2		3	1			2	
		デザイン思考基礎	2②	2						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							2
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後		1						1
		日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1
		日本語リテラシーⅢ	2前		1						1
	日本語／専門研究	2後		1						1	
	日本語／ビジネス	2後		1						1	
	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後	1							8
1前・後			1							16	
健康・スポーツ／実技		1前・後	1								
情報処理系	情報処理—A	1前	2							13	
	応用情報処理	1後	2							4	
(学部共通科目)	問題解決能力・デザイン思考	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2						1	
		データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2						1	
		データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①	2						1	
		都市デザイン学総論	1③④	2		6				6	
(学部共通科目)	問題解決能力・デザイン思考	インフラ材料	2①	2		1				1	
		物質科学	2②	2		3	1			2	
		デザイン思考基礎	2②	2						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(問題解決能力・デザイン思考) (学部共通科目)	自然災害学	2③	2								2	
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1	
	モビリティデザイン	3①		2							1	
	全学横断PBL	3②		1		2					8	
	インターンシップA	3②③		1		9	5					
	インターンシップB	3②③		2		9	5					
	地域デザインPBL	3③	1			3					7	
	都市ブランドデザイン	3③		2							1	
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			2					2	
(自然科学に関わる基礎学力) (専門基礎科目)	入門ゼミナール	1①②		2		9	5		1			
	無機化学	1①②		2			1					
	力学	1①②		2			1					
	微分積分 I	1①②		2			1					
	微分積分 II	1③④		2		1						
	線形代数 I	1①②		2		1						
	線形代数 II	1③④		2		1						
	材料学概論	1③④		2		1	1					
	物理化学 I	1③④		2							1	
	工学基礎実験	2①②	1						1			
	電磁気学	2②		2		1						
	応用数学	2③		2			1					
専攻科目	材料デザイン工学に関わる専門知識	応用力	工学概論／金属	2②		2	6					
			社会人への心構え	3①②		2	8	3				
			先端材料工学	3③④		2	8	3				
			材料デザイン工学実験A	3通	1		3	1				
			材料デザイン工学実験B	3通	1		3	2				
			材料デザイン工学実験C	3通	1		2	1		1		
			材料デザイン工学実験D	3通	1		1	1				
			工場実習	4①		1		1				
			職業指導	4②		2						1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(問題解決能力・デザイン思考) (学部共通科目)	自然災害学	2③	2								2	
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1	
	モビリティデザイン	3①		2							1	
	全学横断PBL	3②		1		2					8	
	インターンシップA	3②③		1		9	5					
	インターンシップB	3②③		2		9	5					
	地域デザインPBL	3③	1			3					7	
	都市ブランドデザイン	3③		2							1	
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			2					2	
(自然科学に関わる基礎学力) (専門基礎科目)	入門ゼミナール	1①②		2		9	5		1			
	無機化学	1①②		2			1					
	力学	1①②		2			1					
	微分積分 I	1①②		2			1					
	微分積分 II	1③④		2		1						
	線形代数 I	1①②		2		1						
	線形代数 II	1③④		2		1						
	材料学概論	1③④		2		1	1					
	物理化学 I	1③④		2							1	
	工学基礎実験	2①②	1						1			
	電磁気学	2②		2		1						
	応用数学	2③		2			1					
専攻科目	材料デザイン工学に関わる専門知識	応用力	工学概論／金属	2②		2	6					
			社会人への心構え	3①②		2	8	3				
			先端材料工学	3③④		2	8	3				
			材料デザイン工学実験A	3通	1		3	1				
			材料デザイン工学実験B	3通	1		3	2				
			材料デザイン工学実験C	3通	1		2	1		1		
			材料デザイン工学実験D	3通	1		1	1				
			工場実習	4①		1		1				
			職業指導	4②		2						1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料物性・機能 材料デザイン工学に関わる専門知識	物理化学Ⅱ	2①	2		1						
		計算材料学Ⅰ	2②	2		1						
		計算材料学Ⅱ	2④	2		1						
		固体物性工学序論	2③	2		1						
		結晶構造解析学	2③	2		1						
		移動現象論Ⅰ	2④	2			1					
		移動現象論Ⅱ	3②	2					1			
		材料機能工学	3①	2		1						
		固体物性工学	3②	2		1						
		材料デザイン工学演習B	3②	2		3	2					
	金属電子論	3④	2			1						
	材料創製	相変態序説	2①	2		1						
		材料力学	2①	2		1						
		材料工学序論Ⅰ	2②	2		1						
		材料工学序論Ⅱ	2④	2		1						
		材料加工学Ⅰ	2③	2		1						
		材料加工学Ⅱ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅰ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅱ	3③	2		1						
		材料強度学	3②	2			1					
		材料デザイン工学演習A	3②	2		3	1					
	組織制御工学	3④	2			1						
	インフラ材料	固体拡散	2①	2		1						
		鉄鋼材料学	2③	2		1						
		循環資源材料工学Ⅰ	2③	2			1					
		循環資源材料工学Ⅱ	3①	2			1					
		環境材料学Ⅰ	2④	2		1						
環境材料学Ⅱ		3②	2		1							
溶接冶金学		3①	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料物性・機能 材料デザイン工学に関わる専門知識	物理化学Ⅱ	2①	2		1						
		計算材料学Ⅰ	2②	2		1						
		計算材料学Ⅱ	2④	2		1						
		固体物性工学序論	2③	2		1						
		結晶構造解析学	2③	2		1						
		移動現象論Ⅰ	2④	2			1					
		移動現象論Ⅱ	3②	2					1			
		材料機能工学	3①	2		1						
		固体物性工学	3②	2		1						
		材料デザイン工学演習B	3②	2		3	2					
	金属電子論	3④	2			1						
	材料創製	相変態序説	2①	2		1						
		材料力学	2①	2		1						
		材料工学序論Ⅰ	2②	2		1						
		材料工学序論Ⅱ	2④	2		1						
		材料加工学Ⅰ	2③	2		1						
		材料加工学Ⅱ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅰ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅱ	3③	2		1						
		材料強度学	3②	2			1					
		材料デザイン工学演習A	3②	2		3	1					
	組織制御工学	3④	2			1						
	インフラ材料	固体拡散	2①	2		1						
		鉄鋼材料学	2③	2		1						
		循環資源材料工学Ⅰ	2③	2			1					
		循環資源材料工学Ⅱ	3①	2			1					
		環境材料学Ⅰ	2④	2		1						
環境材料学Ⅱ		3②	2		1							
溶接冶金学		3①	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	インフラ材料 材料デザイン工学に関わる専門知識	非鉄材料学	3②	2		1						
		構造材料学	3③	2		2						
		材料デザイン工学演習C	3③	2		2	1		1			
		材料デザイン工学演習D	3④	2		1	1					
		補修工学	3④	2		1						
	研究能力	卒業論文	4通	10			9	5		1		
		材料デザイン工学輪読	4通	4			9	5		1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	インフラ材料 材料デザイン工学に関わる専門知識	非鉄材料学	3②	2		1						
		構造材料学	3③	2		2						
		材料デザイン工学演習C	3③	2		2	1		1			
		材料デザイン工学演習D	3④	2		1	1					
		補修工学	3④	2		1						
	研究能力	卒業論文	4通	10			9	5		1		
		材料デザイン工学輪読	4通	4			9	5		1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>○教養教育科目における新規科目の追加 科目充実のため、以下の科目を追加する。 東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦</p> <p>○教養教育科目における配当年次の変更 教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。 言語表現／異文化理解／材料の科学／生活の科学／コンピュータの話／デザインと生物／医療心理学／概説医療心理学／認知科学 脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ／医療と地域社会／現代文化／環日本海 アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門／東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学 環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ 日本事情/芸術文化 / 日本事情/自然社会 / 学士力・人間力基礎/富山学/産業観光学/富山のものづくり概論 富山の地域づくり/発展多言語演習ラテン語Ⅰ/発展多言語演習ラテン語Ⅱ/ 健康・スポーツ/講義 / 健康・スポーツ/実技</p> <p>○教養教育科目における教員配置の変更 担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。</p> <p>○設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更 設置計画書誤記修正のため、「入門ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更する。 (設置計画書における教員名簿等においては、平成32年度まで教授10名として提出済み)</p> <p>○専攻科目における配当年次の変更 教育効果を高めるため、「データサイエンスⅠ/確率統計」の開講タームを1②から1③④に変更する。 教育効果を高めるため、「力学」の開講タームを1①②から1③④に変更する。</p>

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	154 科目	10 科目	184 科目	20 科目 []	158 科目 [4]	10 科目 []	188 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	異文化間コミュニケーション	2	1前・後	一般	選択	開講年次再検討のため1年次前期の科目を未開講とするが、年次を改めて開講予定
2	社会と情報の数理	2	1前・後	一般	選択	開講年次再検討のため1年次前期の科目を未開講とするが、年次を改めて開講予定
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開講年次再検討のために未開講となった科目についても、年次を改めて確実に開講することにより、影響を最小限に抑えることとしている。
 学生には履修案内や学務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{184} = \boxed{1.08} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,141 m ²			
	運動場用地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²			
	小 計	623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,713 m ²			
	そ の 他	89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,909 m ²			
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	第2大学食堂の増築等の ため(30)		
		223,262 222,893 m ²	- m ²	- m ²	223,262 222,893 m ²			
		(223,262 222,893 m ²)	(m ²)	(m ²)	(223,262 222,893 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 学生の修学環境を改善 するため(30)		
	133 室	215 217 室	635 630 室	30 29 室 (補助職員 12 人)	4 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	都市デザイン学部			48 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定 不能なため、大学 全体の数 新規受入、図書の整理 のため(30)
	都市デザイン学部	1,370,847 [438,793] +363,030 [437,165] (1,370,847 [438,793]) (+363,030 [437,165])	24,815 [7,663] 24,760 [7,653] (24,815 [7,663]) (24,760 [7,653])	12,790 [11,427] 13,004 [11,720] (12,790 [11,427]) (13,004 [11,720])	18,297 18,179 18,297 18,179	38 (38)	0	
	計	1,370,847 [438,793] +363,030 [437,165] (1,370,847 [438,793]) (+363,030 [437,165])	24,815 [7,663] 24,760 [7,653] (24,815 [7,663]) (24,760 [7,653])	12,790 [11,427] 13,004 [11,720] (12,790 [11,427]) (13,004 [11,720])	18,297 18,179 18,297 18,179	38 (38)	0	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		【閲覧座席数】学習環 境整備のため 【収納可能冊数】書架 を購入して、書棚を増 やしたため、収納でき る冊数が増加した (30)		
	13,855 m ²		1,566 1,567	1,056,750 1,043,783				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プール・テニスコート					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	富山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部			3年次						
人文学科	4	170	7	725	学士(文学)	1.02	昭和52	富山県富山市五福3190番地	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
計		170	14	739					
人間発達科学部									
発達教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	1.04	平成17	富山県富山市五福3190番地	
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士(教育学)	1.05	平成17	同上	
計		170	-	680					
経済学部									
(昼間主コース)			3年次						
経済学科	4	120	4	525	学士(経済学)	1.04	昭和28	富山県富山市五福3190番地	
経営学科	4	100	4	445	学士(経営学)	1.01	昭和49	同上	
経営法学科	4	85	2	370	学士(法学)	1.03	昭和54	同上	
(夜間主コース)			3年次10(各学科共通)						
経済学科	4	10		70	学士(経済学)	1.07	昭和61	同上	
経営学科	4	10		70	学士(経営学)	1.06	昭和61	同上	
経営法学科	4	10		70	学士(法学)	1.07	昭和61	同上	
計		335	20	1,570					収容定員における編入学者数は、学部計に含める
理学部			3年次4(各学科共通)						
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	昭和52	富山県富山市五福3190番地	
物理学科	4	40	1	160	学士(理学)	1.04	昭和52	同上	
化学科	4	35	1	140	学士(理学)	1.04	昭和52	同上	
生物学科	4	35	1	140	学士(理学)	1.08	昭和52	同上	
地球科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和52	同上	平成30年より学生募集停止
生物圏環境科学科	4	30	1	120	学士(理学)	1.10	平成5	同上	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
計		190	8	768					

医学部									
医学科	6	105	2年次5	630	学士 (医学)	1.00	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	320	学士 (看護学)	1.00	平成5	同上	
計		185	45	995					取容定員における編入学生数は、学部計に含める
薬学部									
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.04	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
創薬科学科	4	50	-	200	学士 (薬科学)	1.05	平成18	同上	
計		105	-	530					
工学部									
工学科	4	365		365	学士 (工学)	1.01	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
環境応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
材料機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
計		365	-	365					
芸術文化学部									
芸術文化学科	4	110	-	455	学士 (芸術文化学)	1.03	平成17	富山県高岡市二上町180番地	
計		110	-	455					
都市デザイン学部									
地球システム科学科	4	40	-	40	学士 (理学)	1.02	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	40	-	40	学士 (工学)	1.05	平成30	同上	
材料デザイン工学科	4	60	-	60	学士 (工学)	1.10	平成30	同上	
計		140	-	140					

大学の名称	富山大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科 (修士課程)									
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	1.06	平成23	富山県富山市五福3190番地	
計		8	-	16					
人間発達科学研究科 (修士課程)									
発達教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.58	平成23	富山県富山市五福3190番地	
発達環境専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.24	平成23	同上	
計		12	-	24					
経済学研究科 (修士課程)									
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士 (経済学)	1.33	平成3	富山県富山市五福3190番地	
企業経営専攻	2	12	-	24	修士 (経営学)	0.95	平成3	同上	
計		18	-	36					
芸術文化学研究科 (修士課程)									
芸術文化学専攻	2	8	-	16	修士 (芸術文化学)	1.06	平成23	富山県高岡市二上町180番地	
計		8	-	16					
生命融合科学教育部 (博士課程)									
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士 (医学)	0.74	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.41	平成18	富山県富山市五福3190番地	
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.83	平成18	同上	
計		17	-	60					

医学薬学教育部									
(修士課程)									
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.30	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学専攻	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	平成18	同上	平成27年より学生募集停止
計		15	-	30					
(博士前期課程)									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.46	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.25	平成22	同上	
計		51	-	102					
(博士後期課程)									
看護学専攻	3	3	-	9	修士 (看護学)	1.22	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	3	8	-	24	修士 (薬科学)	1.33	平成24	同上	
計		11	-	33					
(博士課程)									
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	0.95	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士 (医学)	0.53	平成18	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.43	平成24	同上	
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士 (薬学)	-	平成18	同上	平成24年より学生募集停止
計		29		116					
理工学教育部									
(修士課程)									
数学専攻	2	8	-	16	修士 (理学)	0.81	平成18	富山県富山市五福3190番地	
物理学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.24	平成18	同上	
化学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.62	平成18	同上	
生物学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.45	平成18	同上	
地球科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.05	平成18	同上	
生物環境科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.10	平成18	同上	
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.36	平成18	同上	
知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.27	平成18	同上	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.14	平成18	同上	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.24	平成24	同上	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士 (工学)	1.20	平成24	同上	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.05	平成24	同上	
計		217	-	434					

(博士課程)								
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士 (理学又は工学)	1.46	平成18	富山県富山市五福3190番地
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	1.25	平成18	同上
新エネルギー科学専攻	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.77	平成18	同上
地球生命環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	0.66	平成18	同上
計		16	-	48				
教職実践開発研究科								
(専門職学位課程)								
教職実践開発専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.96	平成28	富山県富山市五福3190番地
計		14	-	28				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<都市デザイン学部 材料デザイン工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		物理の世界 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 線形代数I 電磁気学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 固体物性工学序論 固体物性工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 結晶構造解析学 材料機能工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
		生命の世界 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料デザイン工学実験D 物理化学II 環境材料学I 環境材料学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 線形代数I 電磁気学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 固体物性工学序論 固体物性工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 結晶構造解析学 材料機能工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料デザイン工学実験D 物理化学II 環境材料学I 環境材料学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	才川 清二 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験A 素形材工学I 素形材工学II 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料学概論 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験A 相変態序説 材料工学序論I 材料工学序論II 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験A 材料力学 材料加工学I 材料加工学II 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 鉄鋼材料学 非鉄材料学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	才川 清二 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験A 素形材工学I 素形材工学II 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料学概論 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験A 相変態序説 材料工学序論I 材料工学序論II 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験A 材料力学 材料加工学I 材料加工学II 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 鉄鋼材料学 非鉄材料学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 材料デザイン工学演習D
専	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 微分積分II 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 固体拡散 溶接冶金学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 補修工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		応用情報処理 インターンシップA インターンシップB 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 線形代数II 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 計算材料学I 計算材料学II 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>
		物理の世界 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 力学 微分積分I 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 金属電子論 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 材料デザイン工学演習D
専	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 微分積分II 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 固体拡散 溶接冶金学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 補修工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 線形代数II 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 計算材料学I 計算材料学II 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 力学 微分積分I 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 金属電子論 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 無機化学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 循環資源材料工学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	橋爪 隆 <平成33年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	吉田 正道 <平成30年4月>
		技術の世界 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 応用数学 材料デザイン工学実験C 工場実習 移動現象論I 材料デザイン工学演習C 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	李 昇原 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料学概論 材料デザイン工学実験A 材料強度学 材料デザイン工学演習A 組織制御工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	助教	山根 岳志 <平成30年4月>
		情報処理-A 入門ゼミナール 工学基礎実験 材料デザイン工学実験C 移動現象論II 材料デザイン工学演習C 卒業論文 材料デザイン工学輪読
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 無機化学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 循環資源材料工学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	橋爪 隆 <平成33年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	吉田 正道 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 応用数学 材料デザイン工学実験C 工場実習 移動現象論I 材料デザイン工学演習C 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	李 昇原 <平成30年4月>
		インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料学概論 材料デザイン工学実験A 材料強度学 材料デザイン工学演習A 組織制御工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	助教	山根 岳志 <平成30年4月>
		入門ゼミナール 工学基礎実験 材料デザイン工学実験C 移動現象論II 材料デザイン工学演習C 卒業論文 材料デザイン工学輪読
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学
兼任	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		科学と社会 自然災害学
兼任	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		地球と環境 日本海学
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
		コンピュータの話 情報処理-A データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月>
		デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学
兼任	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月>
兼任	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
		データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月>
		全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月>
		デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	村田 聡 <平成30年4月>
		物理化学 I
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月>
		哲学のすすめ 人間と倫理 医療と地域社会
兼任	教授	喜田 裕子 <平成30年4月>
		こころの科学 学士力・人間力基礎
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 万葉学
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月>
		日本文学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	村田 聡 <平成30年4月>
		物理化学 I
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月>
		医療と地域社会
兼任	教授	永井 龍男 <平成30年4月>
		哲学のすすめ
兼任	教授	田畑 真美 <平成30年4月>
		人間と倫理
兼任	教授	喜田 裕子 <平成30年4月>
		学士力・人間力基礎
兼任	教授	佐藤 徳 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	磯崎 尚子 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	竹村 哲 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	新夕 義典 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	教授	徳永 洋介 <平成30年4月>
		東洋の歴史と社会
兼任	教授	小野 直子 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会
兼任	教授	徳橋 曜 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月>
		日本文学
兼任	教授	田村 俊介 <平成30年4月>
		日本文学 万葉学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月>
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月>
		言語と文化 アカデミック・デザイン
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月>
		異文化間コミュニケーション 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ 日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月>
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月>
		外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月>
		アカデミック・デザイン
兼任	教授	中井 精一 <平成30年4月>
		言語と文化
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	大坪 史尚 <平成30年4月>
		音楽
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	上山 輝 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	後藤 敏伸 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	高橋 誠一 <平成30年4月>
		美術
兼任	教授	米田 猛 <平成30年4月>
		言語表現
兼任	教授	藤本 武 <平成30年4月>
		現代社会論
兼任	教授	橋本 勝 <平成30年4月>
		現代社会論 新聞投稿に挑戦
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月>
		日本語リテラシーⅠ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	BAHAU SIMON PETER <平成30年4月>
		異文化理解 日本事情/自然社会 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼任	教授	木原 淳 <平成30年4月>
		日本国憲法 市民生活と法 医療と地域社会
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月>
		経済生活と法
兼任	教授	唐渡 広志 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境 富山から考える震災・復興学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	BAHAU SIMON PETER <平成30年4月>
		異文化理解 日本事情/自然社会 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼任	講師	木原 淳 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	高橋 満彦 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	宮井 清暢 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月>
		国家と市民
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月>
兼任	教授	竹地 潔 <平成30年4月>
		経済生活と法
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月>
		経済生活と法 市民生活と法
兼任	教授	福井 修 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	橋口 賢一 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	香川 崇 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	教授	唐渡 広志 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	岩田 真一郎 <平成30年4月>
		はじめての経済学
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境
兼任	教授	酒井 富夫 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ
兼任	教授	垣田 直樹 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月>
		経営資源のとらえ方
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月>
		市場と企業の関係 環日本海
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	柘植 清志 <平成30年4月>
		化学物質の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	新里 泰孝 <平成30年4月>
		富山から考える震災・復興学
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月>
		経営資源のとらえ方
兼任	教授	馬 駿 <平成30年4月>
		経営資源のとらえ方
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月>
兼任	教授	坂田 博美 <平成30年4月>
		市場と企業の関係
兼任	教授	堂谷 昌孝 <平成30年4月>
		市場と企業の関係
兼任	教授	岩内 秀徳 <平成30年4月>
		環日本海
兼任	教授	根岸 秀行 <平成30年4月>
		地域の経済と社会・文化
兼任	教授	山根 拓 <平成30年4月>
		地域の経済と社会・文化
兼任	教授	丸茂 克美 <平成30年4月>
		地球と環境
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月>
兼任	教授	松田 恒平 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	田端 俊英 <平成30年4月>
		生命の世界
兼任	教授	池本 弘之 <平成30年4月>
		物理の世界
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月>
兼任	教授	柘植 清志 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	倉光 英樹 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	井川 善也 <平成30年4月>
		化学物質の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月>
		自然と情報の数理 情報処理－A
兼任	教授	横山 一憲 <平成30年4月>
		社会と情報の数理
兼任	教授	岡田 裕之 <平成30年4月>
		技術の世界 情報処理－A
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	堀 悦郎 <平成30年4月>
		医療心理学 概説医療心理学 認知科学 脳科学入門
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月>
		生命科学入門

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月>
兼任	教授	藤田 景子 <平成30年4月>
		自然と情報の数理
兼任	教授	菊池 万里 <平成30年4月>
		自然と情報の数理
兼任	教授	横山 一憲 <平成30年4月>
兼任	教授	岡田 裕之 <平成30年4月>
		情報処理－A
兼任	教授	平澤 良男 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	手崎 衆 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月>
		技術の世界
兼任	教授	堀江 秀夫 <平成30年4月>
		生活の科学
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	岩坪 美兼 <平成30年4月>
		デザインと生物
兼任	教授	堀 悦郎 <平成30年4月>
		医療心理学 概説医療心理学 脳科学入門 身近な医学
兼任	教授	比嘉 勇人 <平成30年4月>
		医療心理学
兼任	教授	森 寿 <平成30年4月>
		脳科学入門
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月>
		生命科学入門
兼任	教授	宮 一志 <平成30年4月>
		障害とアクセシビリティ
兼任	教授	遠田 浩司 <平成30年4月>
		環境

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松井 隆幸 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月>
		ビジネス思考
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月>
		東アジア共同体論—政治・経済・文化—
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月>
		富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 裕 <平成30年4月>
		ジェンダー
兼任	教授	田代 発造 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	川口 清司 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	松井 隆幸 <平成30年4月>
		環日本海
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	波多野 雄治 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月>
		ビジネス思考
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月>
		東アジア共同体論—政治・経済・文化— 産業と経済を学ぶ
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月>
		日本海学
兼任	教授	奥寺 敬 <平成30年4月>
		災害救援ボランティア論
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月>
		地域ライフプラン 産業観光学 富山の地域づくり

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	奥村 讓 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	奥村 讓 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	恒川 正巳 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	藤田 秀樹 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	内藤 亮一 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	教授	荻原 洋 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅡ-A
兼任	教授	タランディス・ジェラルド <平成30年4月>
		英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	岡崎 浩幸 <平成30年4月>
		英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月>
兼任	教授	黒田 廉 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ
兼任	教授	宮内 伸子 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	Wolfgang Zoubek <平成30年4月>
		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>		専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	
		担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	教授	中島 淑恵	<平成30年4月>	兼任	教授	中島 淑恵	<平成30年4月>
		フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ				フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ アカデミック・デザイン	
				兼任	教授	山田 眞一	<平成30年4月>
			中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ				
				兼任	教授	森賀 一恵	<平成30年4月>
			中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ				
				兼任	教授	末岡 宏	<平成30年4月>
			中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ				
				兼任	教授	齊藤 大紀	<平成30年4月>
			中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ				
				兼任	教授	大野 圭介	<平成30年4月>
			中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ				
				兼任	教授	磯部 祐子	<平成30年4月>
			中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ				
				兼任	教授	青木 恭子	<平成30年4月>
						ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ	
	兼任	教授	副島 健治 <平成30年4月>	兼任	教授	カザケーヴィチ マルガリータ アレクサンドロヴナ	<平成30年4月>
						ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ	
	兼任	教授	副島 健治 <平成30年4月>	兼任	教授	副島 健治	<平成30年4月>
						日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ	
				兼任	教授	山崎 けい子	<平成30年4月>
			日本語リテラシーⅡ				
				兼任	教授	大川 信行	<平成30年4月>
			健康・スポーツ/講義				
				兼任	教授	鳥海 清司	<平成30年4月>
			健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技				
				兼任	教授	布村 忠弘	<平成30年4月>
			健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技(特別体育)				

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	立石 良 ＜平成30年4月＞ 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 ＜平成30年4月＞ 地域デザインPBL
兼任	准教授	川崎 一雄 ＜平成30年4月＞ 地球と環境 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 ＜平成30年4月＞ 地域デザインPBL
兼任	准教授	河野 哲也 ＜平成30年4月＞ インフラ材料
兼任	准教授	井ノ口 宗成 ＜平成30年4月＞ 自然災害学
兼任	准教授	高柳(中塚) 百合子 ＜平成30年4月＞ 全学横断PBL 地域デザインPBL
兼任	准教授	猪井 博登 ＜平成30年4月＞ 都市デザイン学総論 全学横断PBL 地域デザインPBL
兼任	准教授	春木 孝之 ＜平成30年4月＞ データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	橋爪 和夫 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	堀田 朋基 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	栗本 猛 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A
兼任	教授	小川 晃一 ＜平成30年4月＞ 情報処理-A
兼任	准教授	立石 良 ＜平成30年4月＞ 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 ＜平成30年4月＞ 地域デザインPBL
兼任	准教授	川崎 一雄 ＜平成30年4月＞ 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 ＜平成30年4月＞ 地域デザインPBL
兼任	准教授	河野 哲也 ＜平成30年4月＞ インフラ材料
兼任	准教授	井ノ口 宗成 ＜平成30年4月＞ 自然災害学
兼任	准教授	高柳(中塚) 百合子 ＜平成30年4月＞ 全学横断PBL 地域デザインPBL
兼任	准教授	猪井 博登 ＜平成30年4月＞ 都市デザイン学総論 全学横断PBL 地域デザインPBL
兼任	准教授	春木 孝之 ＜平成30年4月＞ データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎
兼任	准教授	池田 真治 ＜平成30年4月＞ 哲学のすすめ
兼任	准教授	澤田 哲生 ＜平成30年4月＞ 人間と倫理
兼任	准教授	坪見 博之 ＜平成30年4月＞ こころの科学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷口 美樹 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 治療の文化史 ジェンダー
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	池田 文佑 <平成30年4月>
		現代社会論 現代文化 平和学入門

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	石津 憲一郎 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	准教授	若山 育代 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	准教授	仲嶺 政光 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	准教授	谷口 美樹 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 治療の文化史
兼任	准教授	熊谷 隆之 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	准教授	高橋 浩二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月>
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会
兼任	准教授	大西 吉之 <平成30年4月>
		西洋の歴史と社会
兼任	准教授	小谷 瑛輔 <平成30年4月>
		日本文学
兼任	准教授	安藤 智子 <平成30年4月>
		言語と文化
兼任	准教授	野澤 豊一 <平成30年4月>
		言語と文化
兼任	准教授	宮城 信 <平成30年4月>
		言語と文化
兼任	准教授	島添 貴美子 <平成30年4月>
		音楽
兼任	准教授	沖 和宏 <平成30年4月>
		美術
兼任	准教授	池田 文佑 <平成30年4月>
		現代文化 平和学入門
兼任	准教授	林 夏生 <平成30年4月>
		現代社会論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 孝子 <平成30年4月>
		生活の科学
兼任	准教授	片桐 達雄 <平成30年4月>
		生命科学入門 免疫学入門
兼任	准教授	中川 圭子 <平成30年4月>
		身近な医学
兼任	准教授	高山 龍太郎 <平成30年4月>
		時事の問題
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月>
		災害救援ボランティア論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 孝子 <平成30年4月>
		辻合 秀一 <平成30年4月> コンピュータの話
兼任	准教授	高島 圭史 <平成30年4月> デザインと生物
		片桐 達雄 <平成30年4月> 生命科学入門 免疫学入門
兼任	准教授	岸 裕幸 <平成30年4月> 免疫学入門
		中川 圭子 <平成30年4月>
兼任	准教授	水内 豊和 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
		田中 いずみ <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
兼任	准教授	西村 優紀美 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
		両宮 洋美 <平成30年4月> 環境
兼任	准教授	原 正憲 <平成30年4月> 科学と社会
		萩原 英久 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	准教授	橋爪 隆 <平成30年4月> ビジネス思考
		宮武 滝太 <平成30年4月> 環境と安全管理
兼任	准教授	奥 敬一 <平成30年4月> 富山大学学 富山学
		高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事の問題
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月>

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 雅志 <平成30年4月>
		感性をはぐぐむ
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	水野 真理子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	山岸 倫子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 雅志 <平成30年4月>
		感性をはぐぐむ
兼任	准教授	大西 宏治 <平成30年4月>
		富山の地域づくり
兼任	准教授	結城 史郎 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	竹腰 佳誉子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月>
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月>
兼任	准教授	水野 真理子 <平成30年4月>
兼任	准教授	山岸 倫子 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	阿部 美規 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月>
		フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月>
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	梁 有紀 <平成30年4月>
					中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	准教授	和田 とも美 <平成30年4月>	兼任	准教授	和田 とも美 <平成30年4月>
					朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
			兼任	准教授	上保 敏 <平成30年4月>
					朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ
兼任	教授	武田 昭文 <平成30年4月>	兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月>
					ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
			兼任	准教授	田中 信之 <平成30年4月>
					日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月>	兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月>
					日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	水谷 秀樹 <平成30年4月>	兼任	准教授	水谷 秀樹 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
			兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
			兼任	准教授	佐伯 聡史 <平成30年4月>
					健康・スポーツ/実技
			兼任	准教授	森 雅之 <平成30年4月>
					情報処理Ⅰ-A
			兼任	准教授	笹戸 立夫 <平成30年4月>
					情報処理Ⅰ-A
			兼任	准教授	沖野 浩二 <平成30年4月>
					情報処理Ⅰ-A 応用情報処理
			兼任	准教授	宮澤 真宏 <平成30年4月>
					情報処理Ⅰ-A
			兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月>
					応用情報処理

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	特命 准教授	尾山 真 <平成30年4月>
		富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	佐山 三千雄 <平成30年4月>
		言語表現
兼任	講師	柴田 啓司 <平成30年4月>
		コンピュータの話 情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	講師	小田 夕香理 <平成30年4月>
		英語リテラシーI-A 英語リテラシーII-A 英語コミュニケーションI-A 英語コミュニケーションII-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	特命 准教授	尾山 真 <平成30年4月>
		地域ライフプラン 富山の地域づくり
兼任	講師	近藤 龍彰 <平成30年4月>
		こころの科学
兼任	講師	和田 充紀 <平成30年4月>
		現代と教育
兼任	講師	松田 愛 <平成30年4月>
		美術
兼任	講師	三宮 千佳 <平成30年4月>
		美術
兼任	講師	佐山 三千雄 <平成30年4月>
		言語表現
兼任	講師	増田 友樹 <平成30年4月>
		経済生活と法
兼任	講師	木戸 茜 <平成30年4月>
		市民生活と法
兼任	講師	大橋 隼人 <平成30年4月>
		物理の世界 情報処理-A
兼任	講師	稲積 泰宏 <平成30年4月>
		コンピュータの話
兼任	教授	柴田 啓司 <平成30年4月>
		情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	講師	田口 明 <平成30年4月>
		科学と社会
兼任	講師	小田 夕香理 <平成30年4月>
兼任	講師	高野 登 <平成30年4月>
		日本語コミュニケーションII
兼任	講師	神野 賢治 <平成30年4月>
		健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	特命 講師	桶谷 文哲 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
兼任	助教	堀田 耕平 <平成30年4月> 全学横断PBL
兼任	助教	阿久井 康平 <平成30年4月> 全学横断PBL
兼任	特命 助教	定村 誠 <平成30年4月> 富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	講師	松井 賢二 <平成33年4月> 職業指導

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	田邊 元 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	講師	澤 聡美 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
兼任	講師	村山 立人 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	講師	本田 和博 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	講師	山下 和也 <平成30年4月> 情報処理-A 応用情報処理
兼任	講師	遠山 和大 <平成30年4月> 情報処理-A 応用情報処理
兼任	特命 講師	桶谷 文哲 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
兼任	助教	堀田 耕平 <平成30年4月> 全学横断PBL
兼任	助教	阿久井 康平 <平成30年4月> 全学横断PBL
兼任	助教	加瀬 篤志 <平成30年4月> 自然と情報の数理
兼任	助教	赤丸 悟士 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	特命 助教	定村 誠 <平成30年4月> 地域ライフプラン 富山の地域づくり
兼任	講師	松井 賢二 <平成33年4月> 職業指導
兼任	講師	市村 俊信 <平成30年4月> 哲学のすすめ
兼任	講師	奥野 美友紀 <平成30年4月> 日本文学
兼任	講師	朝木 敏子 <平成30年4月> 日本文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	山田 従子 ＜平成30年4月＞ 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
			兼任	講師	関 泉子 ＜平成30年4月＞ 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
			兼任	講師	符 麗紅 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	楊 峰 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	任 建宏 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	応 広建 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	郭 明輝 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	申 英蘭 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	艾 玉霞 ＜平成30年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	宋 有幸 ＜平成30年4月＞ 朝鮮語コミュニケーションⅠ 朝鮮語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	櫻井 貴志 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ／実技
			兼任	講師	丸井 一誠 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ／実技
			兼任	講師	泉 一郎 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ／実技
			兼任	講師	米山 弘 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ／実技
			兼任	講師	岡本 啓 ＜平成30年4月＞ 健康・スポーツ／実技

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	井上 明浩 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	片貝 仁子 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増

- ・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」
- ・秋葉 悦子／八百 章嘉／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」
- ・根岸 秀行／山根 拓「地域の経済と社会・文化」
- ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」

○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更

- ・上記以外の教養教育科目における変更

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	5	0	1	15	10	4	0	1	15	9	5	0	1	15
(10)	(4)	(0)	(1)	(15)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		(該当なし)					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<都市デザイン学部 材料デザイン工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>○学位の英語名称 学士（工学） 「Bachelor of Materials Engineering」</p> <p>○施設</p>	<p>学内において授与する学位名称の整合性を図るため、学位の英語名称を以下のとおり変更する。</p> <p>学士（工学） 「Bachelor of Engineering」</p> <p>学生の修学環境を改善するため、CAD等専門ソフトを使用することのできる情報処理室を1室整備した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会を設置 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会 定例：毎月第3水曜日に開催（4月18日開催 構成員42人中34人出席） ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 定例：毎月第2水曜日に開催（4月10日開催 構成員9人中9人出席） 臨時：随時（4月24日開催 構成員9人中5人出席） ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 開催について検討中 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学都市デザイン学部教授会 都市デザイン学部の組織及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 都市デザイン学部の教育研究及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 教育内容及び教育方法の改善に関する事項 教育に関する研修会及び講演会の開催に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・入試内容の評価・検討
- ・学生授業アンケートの実施・分析
- ・教育研究指導体制の検討
- ・FD研修会及び講演会の開催

b 実施方法

- ・学部教授会及び運営委員会において実施概要について議論を行う。
- ・学部FD委員会で実施概要の詳細を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・現在未実施であるが、年1回以上のFDを開催する予定で検討をする。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後、学部教授会、学部運営委員会及びFD委員会で検討する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・現在学部運営委員会で検討中

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・現在学部運営委員会で検討中

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今年4月の学科開設にあたり、着任を予定していた教員は全員着任し、15名の教員による新学科の体制を予定通り開始することができ、授業科目等も計画通りに進んでおり、満足な達成状況である。

入学者は定員60名のところ4名多い64名入学し、内訳としてAO入試1名（志願者2名）、特別入試4名（志願者7名）、一般入試前期日程49名（志願者174名）、後期日程10名（志願者66名）であった。

事前の積極的な広報活動や高校訪問・模擬授業等の取組により、多くの志願者があり来年度も引き続き積極的な広報活動を行い、高倍率を維持し、優秀な学生の確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・未定

b 公表方法

- ・未定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成35年度以降に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 7月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。